

いいだ未来デザイン2028戦略計画(案)

【2022(令和4)年度】

長野県飯田市

目次

いいだ未来デザイン2028中期計画の「年度戦略」について	1
市の人口について	1
戦略の推進について	4
SDGsの推進について	4
1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	6
1-① 地域産業の育成による高付加価値化	
1-② 地域経済循環の推進	
1-③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成	
1-④ 地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保	
1-⑤ 地域に根差した農林業の推進	
1-⑥ アフターコロナの観光産業の推進	
1-⑦ 企業誘致、オフィス誘致の推進	
2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	11
2-① 飯田のブランド力の向上と魅力の発信	
2-② 中心市街地の賑わいのある街づくり	
2-③ 「結い」による多様な暮らしを応援する移住定住の推進	
3 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とりニア時代を生きる力を育む	14
3-① 学力保障・学力の向上	
3-② 温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援	
3-③ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進	
3-④ 食育の推進	
3-⑤ 子どもの読書活動の推進	
3-⑥ 児童の放課後の居場所づくり	
3-⑦ 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組	
3-⑧ 防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動適応	
4 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む	19
4-① 住民の主体的な学びあいの支援	
4-② 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開	
4-③ 飯田の価値と魅力の学びと発信	
4-④ 伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進	
4-⑤ 社会教育施設の整備、サービス向上	
4-⑥ 大学の機能を活かした学びの推進	
5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	24
5-① 「人形劇のまちづくり」の推進	
5-② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援	
5-③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり	
5-④ 市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催	
5-⑤ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上	
5-⑥ 中学生期の多様なスポーツ環境の充実	
5-⑦ スポーツ施設の整備、サービス向上	

6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	28
	6-① 結婚の希望をかなえる	
	6-② 出産の希望をかなえる	
	6-③ 孤立を防ぎ、子育ての希望をかなえる	
	6-④ 飯田の持ち味を活かし、豊かな育ちを支える	
7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	31
	7-① 新型コロナウイルス感染症対策の推進	
	7-② 働き盛り世代からの健康づくり	
	7-③ 高齢期の健康づくり(保健事業と介護予防の一体的実施)	
	7-④ 介護予防(重度化防止)の推進	
8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	34
	8-① 地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進	
	8-② 住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築	
	8-③ 複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築	
	8-④ 障がい者の社会参加の推進	
9	20地区が輝く活き活きとした地域づくりを地域主体に進める	36
	9-① 住民みんなで進める自治を育む	
	9-② 地域の担い手を確保し、活力を維持するための「20地区田舎へ還ろう戦略」の推進	
	9-③ 中山間地域をもっと元気にする	
10	個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる	38
	10-① 多様性とムツの行動力でまちづくりを推進	
	10-② 多様性が尊重され、安心して暮らせる地域づくり	
	10-③ 国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり	
11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	40
	11-① 環境問題を知り、学び、実践に移す	
	11-② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換	
	11-③ 地域産再生可能エネルギーの創出と活用	
	11-④ ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進	
12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る	42
	12-① 災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める	
	12-② 災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施	
	12-③ 飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上	
	12-④ 通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止	
	12-⑤ 災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化	
13	リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	45
	13-① リニア・三遠南信時代を見据えた良好な土地利用の推進	
	13-② リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす広域交通拠点整備と広域道路ネットワークの強化	
	13-③ リニアの2次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、AI等の技術を活用したスマートモビリティの実装	
	13-④ 市民サービスを向上するデジタル化の推進	

いいだ未来デザイン 2028 中期計画の「年度戦略」について

年度戦略は、中期計画 4 年間（2021～2024 年度）の基本的方向に基づき、重点的に取り組むテーマとして掲げた 13 の基本目標それぞれの具体的な取組です。また、取組の進捗や社会情勢に随時対応し有効性を高めるため、戦略計画は年度ごとに見直していきます。

なお、中期計画においては、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づく第 2 期総合戦略※を一体化した構造とし、地方の課題となっている人口減少及び地域経済の縮小を克服するための事業を重点戦略と位置付け、地方創生を目指した取組を一層強化していきます。

※飯田市では第 1 期飯田市版総合戦略として 2015（平成 27）年度から 2020（令和 2）年度を期間に策定。

※第 2 期総合戦略に関して、国は令和 2 年 12 月に改訂を行い新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、デジタル・トランスフォーメーション（DX）、脱炭素社会（クリーン社会）、テレワーク、オンライン関係人口などの推進を追加。

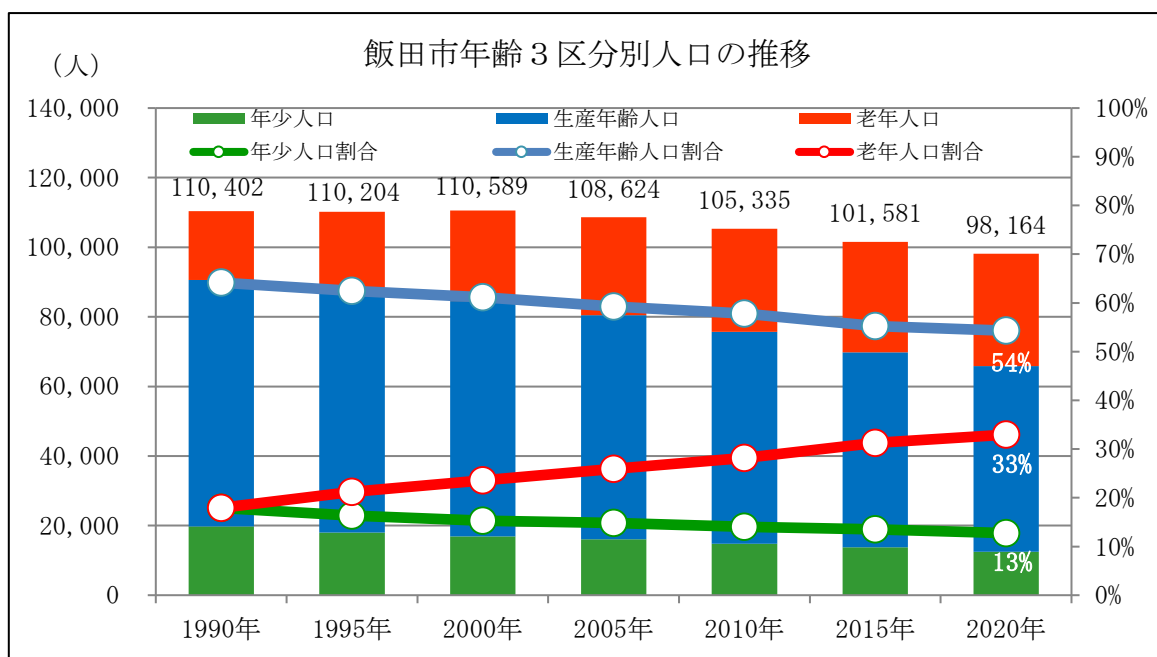
市の人口について

飯田市人口ビジョンでは、2028 年の定住人口を 96,000 人とし、休日滞在人口率をその 1.62 倍とし交流人口の増加を目指すことを掲げています。この目標を達成するため、前期計画 4 年間では、エス・バードの開業による地域産業の高付加価値化や人材育成の機能の強化、結いターン移住定住推進室の設置による相談者対応の強化、小中連携・一貫教育の推進と ICT を活用した教育課題対応、人形劇を通じた国際交流、若者の結婚支援や子育て・保育環境の充実、市民に寄り添う各種の保健福祉施策などを重点に展開してきました。また、リニア・三遠南信自動車道の開通を控え、駅周辺の整備、二次交通の構築、良好な生活環境の保全にも取り組みました。これらの取組の結果、2020（令和 2）年 10 月 1 日現在の国勢調査では 98,164 人となり、人口ビジョンとの比較では 334 人少ないものの国立社会保障人口問題研究所（社人研）推計との比較では 666 人上回っている状況です。

一方で、2015（平成 27）年の国勢調査の結果である 101,581 人と比較すると、5 年間で 3,417 人減少しており、中期計画 4 年間においては、新型コロナウイルス感染症による市民の健康や経済活動を守る取組を最優先しながらも、人口ビジョンを達成するために、目下のコロナ対策とともにアフターコロナも展望しつつ、人口増加につながる戦略を更に強化していきます。

（1）人口推移

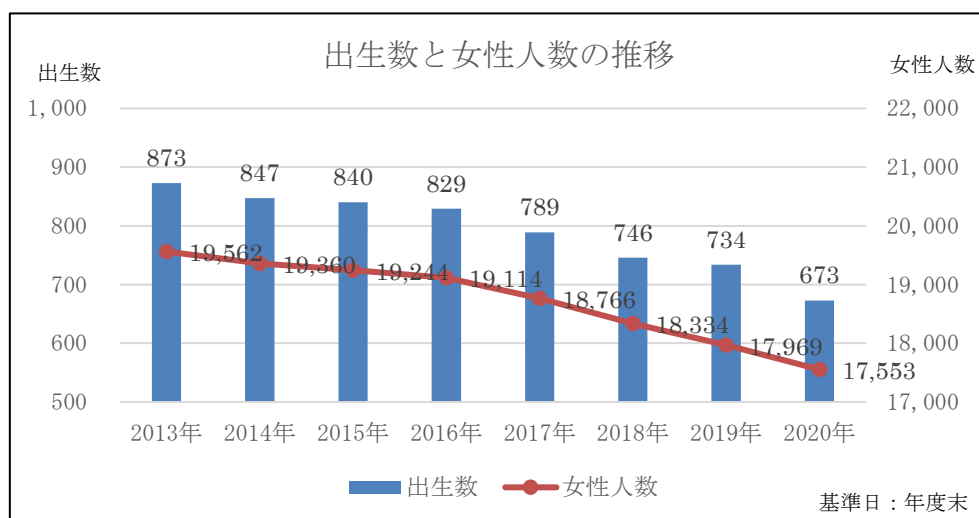
飯田市の人口構成をみると、0 歳から 14 歳までの年少人口と 15 歳から 64 歳までの生産年齢人口は年々減少し、65 歳以上の老年人口は年々増加しています。特に、生産年齢人口の割合は、1990（平成 2）年の国勢調査では全体の 64%を占めていましたが、2020（令和 2）年の国勢調査では全体の 54%となっており、この 30 年間で 10%減少しています。



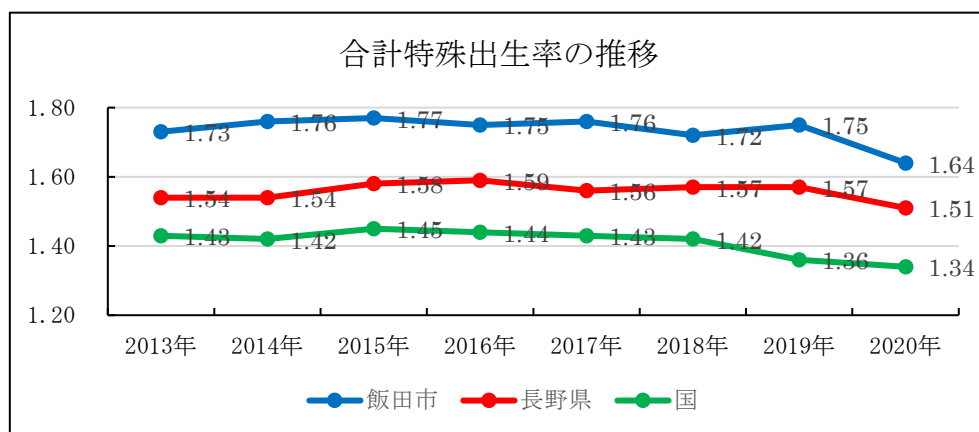
① 自然動態（出生数・死亡数）

○出生数の推移

・15歳～49歳の女性の人数は減少が続いており、それに伴い出生数も減少しています。

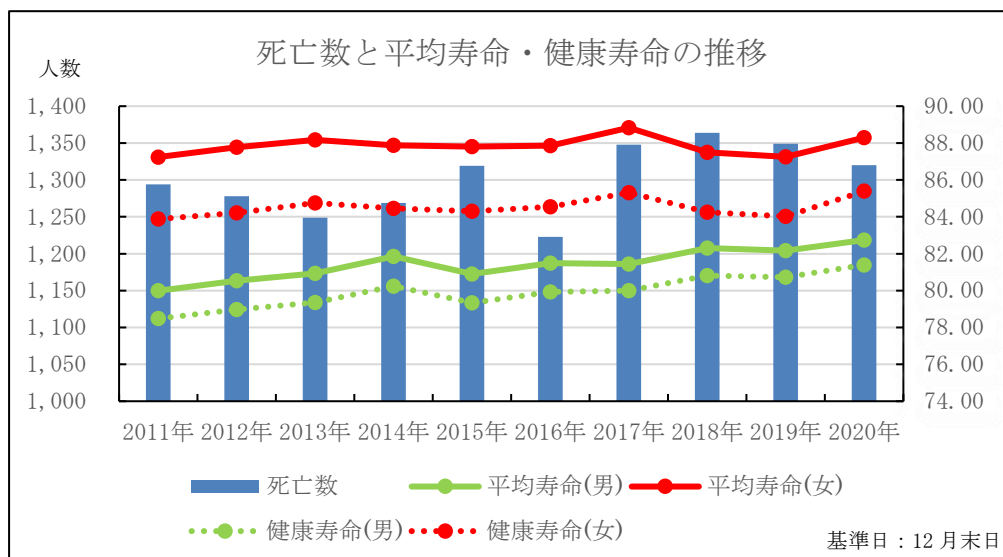


・合計特殊出生率は、国や県と比較しても高い数値を保っていますが、2019（令和元）年が1.75であるのに対し、2020（令和2）年は1.64と大きく減少しました。



○死亡数の推移

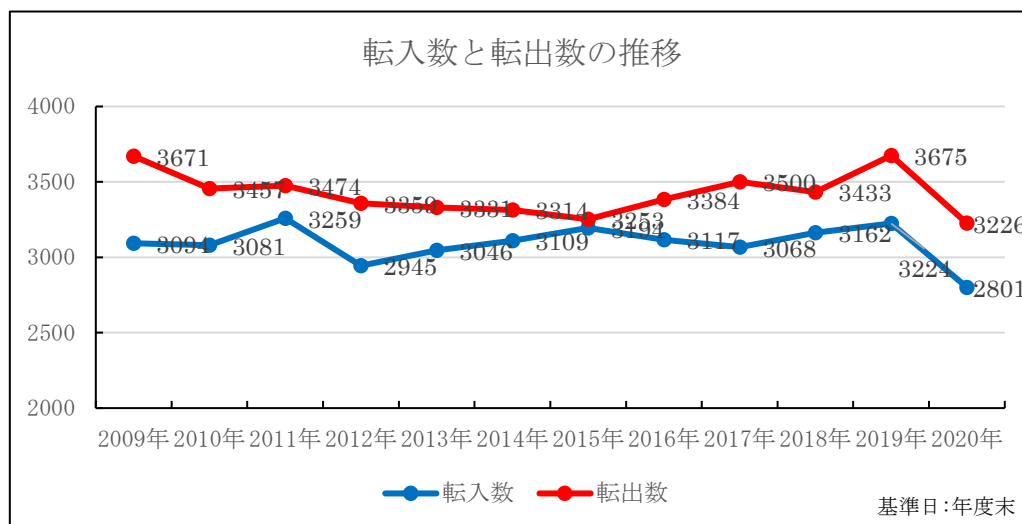
- ・死亡数は 2011（平成 23）年の 1,294 人から増減を繰り返しながら推移していますが、2020（令和 2）年は 1,320 人（対前年比－29 人）でした。
- ・2020（令和 2）年は男性の平均寿命が 82.74、健康寿命が 81.39 で、女性の平均寿命が 88.30、健康寿命が 85.39 で、男女ともに平均寿命と健康寿命の差が前年度よりも縮小しています。



② 社会動態（転入数・転出数）

○転入数と転出数の差

- ・2009（平成 21）年から 2015（平成 27）年にかけて、転入数と転出数の差が縮小傾向にありましたが、2016（平成 28）年以降は差が拡大傾向にあります。
- ・2020（令和 2）年は転入数、転出数ともに大きく減少していますが、転入数と転出数の差に大きな変化はありません。



（2）地区別人口について

地区別の人口は、2020（令和 2）年の国勢調査の集計が発表され次第、掲載します。

戦略の推進について

（１）推進体制

- ・住民組織、産業界、行政機関、大学、金融機関、労働団体及び各種団体等の多様な主体と十分に連携しながら、取組の成果向上を図ります。
- ・全庁体制で施策を多様な主体との協働により横断的かつ総合的に推進し、地区や分野別懇談会など市民からの意見も随時反映させながら推進していきます。

（２）効果の検証

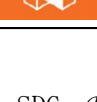
- ・総合戦略としての成果を客観的かつ定量的に測るため、重要業績評価指標（K P I）を設定し、進行管理の中で合わせて評価を行います。
- ・外部評価を実施し、市民や議会、関係者からの意見を取り入れることで、より効果の高い取組へ改革改善していく P D C A サイクルを実施します。

SDGs の推進について

SDGs（エス・ディー・ジーズ：Sustainable Development Goals）とは、持続可能な開発目標のことで、2015（平成 27）年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016（平成 28）年から 2030（令和 12）年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴールと 169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、国としても積極的に取り組んでいます。

SDGs は、その基本理念として、貧困の撲滅をはじめ、世界中の「誰ひとり取り残されない」という、包摂的な世の中を作っていくことが重要であると示しています。これは、住民の福祉の増進を図ることを目的とする地方自治体と、目的を同じくするものです。そこで、当市も本計画の各分野において SDGs に関連する目標指標を掲げ、自治体レベルで SDGs の理念と目標を支えることとしました。

〇いいだ未来デザイン 2028 とSDGs の連携

SDGsの取組目標		関連する未来デザインの 基本目標（テーマ）	SDGsの取組目標		関連する未来デザインの 基本目標（テーマ）
	貧困をなくそう	⑧(福祉)		人や国の不平等をなくそう	③(学校教育)④(社会教育)⑩(地域)
	飢餓をゼロに	①(産業)⑧(福祉)		住み続けられるまちづくりを	②(人の流れ)④(学校教育)⑤(文化・スポーツ)⑥(子育て)⑦(健康)⑧(福祉)⑨(地域)⑪(環境)⑫(防災・社会基盤)⑬(都市基盤)
	すべての人に健康と福祉を	⑥(子育て)⑦(健康)⑧(福祉)		つくる責任つかう責任	①(産業)⑩(多様性)⑪(環境)
	質の高い教育をみんなに	①(産業)②(人の流れ)③(学校教育)④(社会教育)⑤(文化・スポーツ)⑥(子育て)⑪(環境)		気候変動に具体的な対策を	①(産業)③(学校教育)⑪(環境)⑫(防災・社会基盤)⑬(都市基盤)
	ジェンダー平等を実現しよう	③(学校教育)④(社会教育)⑥(子育て)⑩(多様性)		海の豊かさを守ろう	⑪(環境)
	安全な水とトイレを世界中に	⑪(地域)⑫(防災・社会基盤)		陸の豊かさを守ろう	①(産業)、⑪(環境)⑬(都市基盤)
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	⑪(環境)⑬(都市基盤)		平和と公平をすべての人に	④(社会教育)⑧(福祉)⑨(地域)⑩(多様性)
	働きがいも経済成長も	①(産業)②(人の流れ)⑥(子育て)⑩(地域)		パートナーシップで目標を達成しよう	①(産業)②(人の流れ)⑧(福祉)⑨(地域)⑩(多様性)⑪(環境)
	産業と技術革新の基盤をつくろう	①(産業)⑬(都市基盤)			

SDGs の 17 の目標は、「貧困をなくそう」からはじまり「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「住み続けられるまちづくりを」など、市民生活とも関わりが深い目標です。このことから、SDGs を、市民や事業者、行政との協働に向けた体制づくり、あるいは、情報や課題の共有手段として活用していくことが可能です。

また、17 の目標は相互に関連し、持続可能なまちづくりにつながっていきます。このことから、SDGs を、市の各担当課で実施している施策・事業間の横断的連携を図ったり、施策・事業の目標管理に活用したりすることが可能です。

いいだ未来デザイン 2028 中期計画においては、国際目標である SDGs を「新しいものさし」とすることで、市民・事業者・行政などそれぞれが、グローバルな問題を地域の視点から捉え、あるいは、地域の問題をグローバルな視点から捉える機会となること、そして、SDGs をキーワードに様々な立場の人が連携し、様々な分野で持続可能なまちづくりを推進していくことを目指します。



基本目標	1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる
戦略 (考え方)	◆ 地域産業の持続可能な成長を目指し、産業振興と人材育成の拠点であるエス・バードの機能を活用して、地域産業の高付加価値化に取り組み、外貨獲得と域内発注・域内調達・域内消費による地域内経済循環を推進します。 ◆ 新型コロナウイルス感染症に負けない地域産業を構築するために、新たなビジネスモデルへの転換や事業承継等に取り組む事業者を支援するとともに、「環境・エネルギー」「福祉・医療」分野の産業創出を進め、様々な分野における地域産業の将来を支える担い手、起業家の育成に取り組みます。 ◆ 外貨を稼ぐ農業を振興するとともに、「農ある豊かな暮らし」が広がる取り組みを推進し、市民が農業の持つ多面的機能への理解を深め、地域が支える農業の実現を目指します。また、豊富な森林資源を活用する視点に立ち、地域産材や間伐材が有効活用される仕組みづくりに取り組みます。 ◆ アフターコロナにおける南信州地域全体の観光振興に向けて、遠山郷、天龍峡やリニア開業により玄関口となる中間駅周辺をはじめ、各地域が持つ特色ある資源を生かして、魅力づくりに取り組む人々を支援するとともに、様々なニーズに対応できる「旅の目的地」となる魅力を発信することで人を呼び込み、観光消費を促し、結果として観光従事者が増えるなど地域経済の振興に繋がる取組を進めます。 ◆ 多様な働き方を認め、働きやすい環境づくりを推進するために「ワークライフバランス改革」を企業とともに進めます。 ◆ コロナ禍における地方への移転と分散の動きをとらえて、産業用地等の整備やエス・バードの活用など、地域の強みを生かした企業・オフィス誘致に取り組みます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	R6
① 工業技術試験研究所利用件数(件)	826	585 (12月末)				3,400 (累計)
② 飯田産業技術大学受講者数(人)	953	861 (12月末)				3,800 (累計)
③ 粗付加価値額(飯田下伊那)(億円)	1,480 (H30)					1,480
④ 6次産業化総合化事業計画認定件数(件)	3 (R1)	1				4 (累計)
⑤ ネスクイダ取引成約金額(億円)	11.6					40 (累計)
⑥ 直売所の八百屋機能を活用した店舗数(店舗)	2	3 (12月末)				10 (累計)
⑦ 産業センター専門家が支援する新分野・新事業に取り組む企業数(社)	67					200 (累計)
⑧ 信州大学社会人スキルアップ講座(食品・電気)修了者数(人)	12					40 (累計)
⑨ I-Port、ビジネスプランコンペにより成立する創業・新事業展開・事業転換の件数(件)	9	8 (12月末)				40 (累計)
⑩ 信州大学共同研究講座 学位取得者数(人)	3					24 (累計)
⑪ エスバード内共創の場 利用者数(人)	2,825	2,462 (12月末)				12,000 (累計)
⑫ 新規就農者数[自営・法人就農](人)	6	4 (12月末)				30 (累計)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
⑬ 市田柿出荷量[南信州](t)	2,094 (R1)				2,300
⑭ 市民農園の利用区画数(区画)	210				240
⑮ 1日農業バイトマッチング件数(件)	230	1,421 (11月末)			1,000
⑯ 森林資源活用推進事業 実施件数(件)	12 (R1)	13 (12月末)			30
⑰ 間伐面積(ha)	300	107 (12月末)			1,200 (累計)
⑱ 天龍峡の観光入込客数(人)	253,600	225,100			376,000
⑲ 遠山郷の観光入込客数(人)	52,800	56,200			113,000
⑳ 観光消費額(単位:百万円) (長野県観光地利用者統計)	742				1,250
㉑ ワークライフバランス推進企業懇談会への 参加企業数(社)	-				16
㉒ 職場いきいきアドバイスカンパニー認証企 業数(社)	9	9			13
㉓ 企業立地(振興)促進事業補助金交付対 象企業の雇用人数(人)	91	8 (12月末)			96 (累計)
㉔ 企業誘致数(社)	2	1 (12月末)			4 (累計)

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 地域産業の育成による高付加価値化				
(1) エス・バード内工業技術試験研究所の機能・体制強化と、その活用と大学等の連携により製品・技術開発を支援します。 (2) エス・バードを拠点に多様な分野との連携促進を図るため、新たなプラットフォームを構築し、地域資源を活用した商品開発や販路開拓を支援します。 (3) 農業分野を超えた業界連携による新商品開発、効率化等の6次産業化への取組を支援します。 「働きながら学べる環境」づくりを進め、製造現場における技術・技能者、管理者等の育成と、新たな製品や技術開発の促進に向けて、信州大学と連携し専門的なスキル・知識を持つ人材の育成に取り組みます。【小戦略④にも掲載】 (5) 省力化・生産性を高めるために、IoT、AI、ロボット化に取り組む事業者を支援します。				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	環境技術開発センター運営事業	工業課	5,261	基本目標1小戦略⑦ 基本目標2小戦略③
(1)(2)	産業振興事業	工業課	167,858	基本目標1小戦略②③
(1)(5)	新産業創出事業	工業課	16,640	基本目標1小戦略③
(3)	農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業	農業課	16,788	基本目標1小戦略②⑤
(4)	人材育成事業	工業課	14,491	基本目標1小戦略④
		計	221,038	
補足事項				
(1) KPI: 工業技術試験研究所利用件数(件) ・粗付加価値額(飯田下伊那)は、工業統計調査を利用しているため、H30年度の数値を基準値として記載				

② 地域経済循環の推進

- (1) 関係団体や事業者が一体となって地域全体の域産域消に取り組むため、「農＋食・観光」をつなげ、産業分野が連携して、地元農畜産物を飲食店等へ供給する仕組みづくりを進めます。
- (2) 地域内発注や域内調達及び地域内消費が促進されるように、その構造を分析し、具体的な取組、事業を推進します。
- (3) 南信州・飯田産業センターのネスクイダを中心に販路開拓による域外からの受注獲得と域内受発注の促進を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業	農業課	16,788	基本目標1小戦略①⑤
(2)	地域経済循環推進事業	産業振興課	1,908	
(3)	産業振興事業	工業課	167,858	基本目標1小戦略①③
		計	186,554	

③ 事業継続と新たなビジネスモデルの創出、事業再構築、起業家の育成

- (1) コロナ禍の影響を大きく受けた事業者の状況を注視しながら、関係機関と連携して事業承継に関する意向調査を実施するとともに、関係機関の支援ネットワークを強化し、対応を進めます。
- (2) 南信州・飯田産業センターへ専門人材を配置し、新分野(次世代エアモビリティ・健康医療・環境等)の製品・技術開発及び販路開拓を支援します。
- (3) 飯田市新事業創出支援協議会(I-Port)の機能活用と、ビジネスプランコンペティションの開催を通して、起業家の創出と育成、新事業創出、事業転換を目指す事業者の支援に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	事業承継支援事業	産業振興課	2,060	
(2)	産業振興事業	工業課	167,858	基本目標1小戦略①②
(2)	新産業創出事業	工業課	16,640	基本目標1小戦略①
(3)	起業家育成支援事業	工業課	9,917	
		計	196,475	

④ 地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保

- 信州大学や南信州・飯田産業センターと連携し、航空機システム共同研究講座の運営支援とランドスケープ・プランニング共同研究講座の開設準備に取り組み、エスバード内「信州大学南信州・飯田サテライトキャンパス」の充実に向けて支援します。
- 担い手就農プロデュース、農業法人等の関係機関と連携して、新規就農者、親元就農者の確保と育成に取り組みます。
- 「働きながら学べる環境」づくりを進め、製造現場における技術・技能者、管理者等の育成と、新たな製品や技術開発の促進に向けて、信州大学と連携し専門的なスキル・知識を持つ人材の育成に取り組みます。【小戦略①にも掲載】
- 各事業所が良い人材を確保し、いきいきと活躍してもらうには、事業者におけるワークライフバランスの視点と具体的な取組が重要であることから、このモデルケースを地域内で調査し、共有しながら、具体的な取組を進める事業者の輪を広げます。
- 人材の確保に向けて、「飯田で働こう」とする強いメッセージになるよう、WEB・デジタル技術活用による地域企業が連携した情報発信力を強化するとともに、人材確保の取組・体制強化を進めます。【基本目標2にも掲載】

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(3)	人材育成事業	工業課	14,491	基本目標1小戦略①
(2)	担い手確保・育成支援事業	農業課	66,159	基本目標1小戦略⑤
(4)	勤労者支援事業	産業振興課	152,613	
(5)	雇用対策事業	産業振興課	2,931	基本目標2小戦略③
		計	236,194	

補足事項

- (1) KPI: 信州大学共同研究講座 学位取得者数(人)

⑤ 地域に根差した農林業の推進

- 市田柿の生産基盤の強化と、販路の拡大に取り組みます。
- 「農ある暮らし」を応援するため、市民農園制度等を周知するとともに、1日農業バイトのマッチングアプリの活用を進めます。
- 環境に配慮した農業の推進に取り組みます。
- 林業関係団体と連携して、認証材の普及を進めるとともに地域産材の利用を促進します。
- 搬出間伐や更新伐を含めた主伐の促進による森林整備を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業	農業課	16,788	基本目標1小戦略①②
(1)(3)	強い園芸産地育成事業	農業課	60,426	
(2)	元気な農村づくり推進事業	農業課	1,472	
(2)	担い手確保・育成支援事業	農業課	66,159	基本目標1小戦略④
(4)	森林資源活用推進事業	林務課	9,517	
(5)	森林づくり推進事業	林務課	99,839	
		計	254,201	

⑥ アフターコロナの観光産業の推進

- (1) 観光地域づくり法人と連携して、コロナ禍による価値観の変化に対応した新たなツーリズムの構築を目指すとともに、「旅の目的提案」としてのプロモーションを強化し、外貨の獲得に取り組みます。
- (2) 天龍峡大橋「そらさんぽ天龍峡」及びパーキングエリア周辺の活用を通して、旅行者の滞在時間を増やし、消費を喚起する取組を進めます。
- (3) 遠山郷の拠点となる道の駅の再整備に向けた検討を進めるとともに、南アルプスの「エコ登山」やしらびそ高原を起点とした山岳高原観光を推進して、観光を切り口とした地域振興を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	観光誘客推進事業	観光課	61,117	
(2)	天龍峡まちづくり支援事業	観光課	56,619	
(3)	遠山郷観光戦略プロジェクト事業	観光課	13,248	
(3)	上村観光施設管理事業	観光課	40,272	
(3)	南信濃観光施設管理事業	観光課	37,258	
		計	208,514	

⑦ 企業誘致、オフィス誘致の推進

- (1) 新産業団地の整備とPRを進め、リニアの発生土を活用した更なる産業用地の確保を検討します。
- (2) 地域課題を通じて企業と自治体を結び付けるマッチングサービス等の活用により、オフィス誘致に引き続き取り組むとともに、SDGs、デジタル化、物流等新たな視点も踏まえた企業誘致に取り組みます。【基本目標2にも掲載】

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	産業用地整備事業	工業課	175,263	
(2)	企業誘致・立地促進事業	工業課	40,344	基本目標2小戦略③
(2)	環境技術開発センター運営事業	工業課	5,261	基本目標1小戦略① 基本目標2小戦略③
		計	220,868	

補足事項

(2) KPI: 企業誘致数(社)

基本目標	2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる
戦略 (考え方)	◆ 交流人口、関係人口の拡大を目指し、飯田のブランド力を向上する様々な取組を支援するとともに、飯田の魅力を市民と共有しつつ、地域外の方々に認知し共感していただくための情報発信を展開します。 ◆ 暮らしと交流のステージである中心市街地の魅力を磨き、空き店舗の活用を始め、既存のストックを生かした「歩く人が中心の賑わいのあるまち」づくりを進め、関係人口の増加を目指します。 ◆ 高校生や大学生と地元企業とを「つなぐ」事業を推進し、地域と若者の関係を深め、地元企業の人材確保をサポートし、若者の回帰定着を進めます。 ◆ 地域の魅力や実現可能なライフスタイルを発信するとともに、職・住・暮らしの個別相談、地域の受入環境づくり、移住後の支援を行い、移住定住を推進します。 ◆ 各地区が特徴を生かして交流人口・関係人口・移住者の増加を目指す「20地区田舎へ還ろう戦略」を、地域と行政が協働して進めます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R1	R3	R4	R5	R6
① VisitIIDA.comサイトユーザー数(ユーザー)	461	3,760			4,600
② IIDA2027ツイッターフォロワー数(人)	1,998	3,306			4,500
③ 中心市街地の歩行者・自転車通行量(人/日)	8,414	7,168			10,215
④ 新規高卒者の地域内就職率(%)	20.60	19.69			25.00
⑤ 新規大学等卒業者の地域内就職率(%)	18.20	19.83			25.00
⑥ 高等教育機関の学生に情報発信できるインターンシップ受入企業数(社)	20	30			40
⑦ 「つなぐ」事業のSNSフォロワー等の数(人)	700	828			1,700
⑧ 新規移住相談件数(件)	233				280
⑨ UIターン移住者数(人)	114				136
⑩ 「20地区田舎へ還ろう戦略」で関係人口拡大の取組を行った地区数(通常ベースの活動は除く)(地区)	13				20

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 飯田のブランド力の向上と魅力の発信

- (1) 「飯田焼肉」を地元で盛り上げる活動や、大学と連携した「飯田水引」の認知度向上など、飯田のブランド力の向上につながる様々な取組を支援します。
- (2) 飯田の魅力を紹介するWeb動画等の充実を図るとともに、首都圏住民などターゲットを絞ったPRを展開します。
- (3) 飯田を発信するため、市民や事業者と連携した交流イベントを都心で開催します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	IIDAブランド推進事業	IIDAブランド推進課	10,037	基本目標13小戦略④
(2)	公立認定こども園管理運営事業	子育て支援課	650,873	基本目標6小戦略④
		計	660,910	

② 中心市街地の賑わいのある街づくり

- (1) 飯田駅周辺、りんご並木、桜並木、春草通りなど、既存ストックを活用、強化、進化させ、アフターコロナに向けた賑わいづくりを進めます。
- (2) 民間企業と連携したデジタル技術の活用による新たな魅力・サービスづくりを進め、歩き、集い、巡る賑わいのある街づくりに取り組みます。
- (3) 空き家・空き店舗の活用に向け、実行組織の仕組みづくりや店舗活用の支援に取り組みます。
- (4) 電気小型バス「プッチー」を運行し、まちの回遊性を高めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)(4)	中心市街地活性化推進事業	商業・市街地活性化課	13,121	基本目標4小戦略①
(1)(2)	りんご並木活性化事業	商業・市街地活性化課	4,080	
(1)(2)	商業活性化総合支援事業	商業・市街地活性化課	3,314	
(1)	防災・安全対策事業	土木課	906,196	基本目標3小戦略⑧ 基本目標12小戦略⑤
(1)	公民館維持管理事業	公民館	194,362	基本目標4小戦略①⑤
(1)	公民館改修事業	公民館	59,798	基本目標4小戦略①⑤
(3)	にぎわい創出店舗活用事業	商業・市街地活性化課	1,200	
		計	1,182,071	

③ 「結い」による多様な暮らしを応援する移住定住の推進

- 人材の確保に向けて、「飯田で働こう」とする強いメッセージになるよう、WEB・デジタル技術活用による地
- (1) 域企業が連携した情報発信力を強化するとともに、人材確保の取組・体制強化を進めます。【基本目標1にも掲載】
- 地域課題を通じて企業と自治体を結び付けるマッチングサービス等の活用により、オフィス誘致に引き続き
- (2) き取り組むとともに、SDGs、デジタル化、物流等新たな視点も踏まえた企業誘致に取り組めます。【基本目標1にも掲載】
- (3) 対面とオンラインを組み合わせたワンストップ窓口体制による移住相談・支援を行います。
- (4) 専門職(福祉介護職、保育職等)の人材確保に向けた取組とともに、市内事業所の求人開拓と移住希望者の希望とのマッチングを図り、職の確保と雇用促進につなげます。
- (5) 事業者及び地域と連携した空き家バンクの充実と一般物件の情報提供を行い、住まいの確保を支援します。
- (6) 地域及び移住コンシェルジュ等と連携し、移住者の受入れ及び定住に向けた暮らしの支援を行います。
- (7) 移住セミナーによる地域や暮らしの情報発信、「お試し暮らし」の機会の提供、ゲストハウス等による人をつなぐフロント機能の充実を図り、関係人口の創出・拡大に向けた取組を進めます。
- (8) マッチングシステムやSNS等の情報発信チャネルを効果的に活用し、「20地区田舎へ還ろう戦略」と連動しながら、地域との出会いやその関係性を深める取組を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	雇用対策事業	産業振興課	2,931	基本目標1小戦略④
(1)	大学とのネットワーク構築事業	企画課	9,462	基本目標4小戦略①②③
(2)	企業誘致・立地促進事業	工業課	40,344	基本目標1小戦略⑦
(2)	環境技術開発研究センター運営事業	工業課	5,261	基本目標1小戦略①⑦
(3)(4)(5)(6)(7)(8)	移住定住推進事業	結いターン移住定住推進室	15,229	
(5)	総合的な空き家対策事業	ムトスまちづくり推進課	16,701	基本目標9小戦略③
(6)(7)(8)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	ムトスまちづくり推進課	3,268	基本目標9小戦略②
(6)(7)(8)	中山間地域振興事業	ムトスまちづくり推進課	46,916	基本目標9小戦略③
(6)(7)(8)	遠山郷振興事業	ムトスまちづくり推進課	8,577	基本目標9小戦略③
		計	148,689	

基本目標	3 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む
戦略 (考え方)	◆ お互いを認め合い、安心して学べる学級づくりを目指し、子どもたちの学力の保障・向上と不登校対策のため、小中連携・一貫教育を進めます。また、コロナ禍への対応を含め、全ての教育活動を通じてICTの活用を推進します。 ◆ 日常生活における自他の尊厳を尊重する態度を育成し、互いを認め合える温かな人間関係づくりと個に寄り添った誰ひとり取り残さない教育や支援を推進します。 ◆ 飯田コミュニティスクールを活かし、地域・学校・家庭がそれぞれ当事者意識を持って協働し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進めます。 ◆ 学校給食の地産地消、有機食材の導入拡大と、献立に地域の旬の食材や郷土食、行事食を取り入れる工夫に努めながら、学校給食を活用した食育に取り組みます。 ◆ 子どもが読書を楽しみ、感性や言葉を豊かにし、想像力、表現力や情報を活用する力をつけられるよう、乳幼児期から発達段階に応じて読書体験の充実に取り組みます。 ◆ 就労等で放課後保護者等が不在となる家庭の児童の居場所づくりのため、児童支援員の確保や適切な配置に努めるとともに、4年生以上高学年の受入希望にも対応できる組織・体制づくりを進めます。 ◆ 児童生徒の減少や学校施設の老朽化が進んでいる中で、地域に根差した飯田らしい教育環境が展開され、将来にわたり子どもたちが主体的に学び合う場とするためには、どのような学校がよいのか、子どもたちの未来のため、みんなで考えていきます。 ◆ 児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、通学路安全対策や環境整備を進めるとともに、気候変動に適応した校外活動に取り組みます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	R6
① 全国学力・学習状況調査における小6国語、算数、中3国語、数学の全国平均比較 (◎… $\geq +2$ 点、○… $+2$ 点 > -2 点、△… ≤ -2 点)	小6国○ 算数○ 中3国△ 数学△ (R1)	小6国○ 算数○ 中3国○ 数学△				小6国語○ 算数○ 中3国語○ 数学○
② 全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがあると思いますか。」に対する回答結果の全国平均差(点)	小6年△1 中3年△3 (R1)	小6年△2 中3年△4				小6年 ±0 中3年 ±0
③ 不登校児童生徒在籍比(%)	小 0.87 中 3.91 (R1)	小 0.99 中 4.73 (R2)				前年度以下
④ 学校給食における飯田下伊那産野菜主要10品目使用率(%)	54.1 (R1)	46.8 (R2)				55.0
⑤ 授業以外に1日10分以上読書をしている児童生徒割合(%)	小6-67.1 (県69.0) 中3-55.6 (県57.1) (R1)	小6-63.6 (県64.9) 中3-60.2 (県59.8)				県平均以上

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 学力保障・学力の向上

- (1) 学力向上の基盤となる「自分の良いところを自覚し、互いを認め合える」集団・学級づくりを、すべての小中学校で目指します。
学力向上「結い」プラン(ねらい、めりはり、みとどけ)に基づく授業づくりを徹底し、ねらいに向かって主体的に取り組む様子を、子どもたちの具体的な変容の姿でとらえ、小中連携・一貫教育推進委員会で共有し、各校に横展開していきます。また、自ら考え取り組む家庭学習を目指し、家庭学習の改善に取り組みます。
- (2) 一人一台の学習者用端末を使用し、一人ひとりの考えをクラス全員が共有することを位置づけた授業の展開と、休校時にはつながりと学びを大切にしていきます。また、ICTの活用にあたっては、子どもたちが安心・安全に使えるように、専門家の意見を聞きながら活用する力を高めていきます。
- (3) 全ての教育活動を通じて、読解力を高めることを意識した授業づくりに向けて研究を進めます。
- (5) 小中学校の外国語を担当する教員の指導力向上を図り、ALTとの協働やICTの活用で、言語活動を重視した、児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(4)	人間関係づくり支援事業	学校教育課	30,298	基本目標3小戦略②
(1)(2)(4)	学力向上推進事業	学校教育課	22,892	
(1)(2)	小中連携・一貫教育推進事業	学校教育課	899	基本目標3小戦略⑦
(3)	ICT教育推進事業	学校教育課	188,811	
(3)	情報モラル教育推進事業	学校教育課	1,900	
(5)	外国語教育推進事業	学校教育課	39,424	
		計	284,224	

② 温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援

- (1) 互いを認め合え、困っている人には手を差し伸べる温かな人間関係の集団づくりに取り組むため、学級づくりの支援を行ったり、中学校区毎に研修会を開催したりします。
教室になじめない児童生徒のために、個々の実態に合わせ、校内中間教室、校外中間教室の他、(仮称)飯田駅前プラザに新たな支援の拠点を設置し、民間施設等を含めた多様な場で学習する機会をつくれます。
- (2) いじめの未然防止や早期発見に努め、迅速かつ組織的に対応します。また児童虐待の早期発見に努めます。
- (3) 特別な支援が必要な子どもについて、支援員を増員して支援するとともに、より多様化する子どもたちの支援に対応するために、教職員の特別支援教育に関する研修を行います。
- (5) 経済的理由により子どもたちの学習の機会が制約されることのないよう支援します。また、大学等卒業後に飯田市に居住した場合には、奨学金の返還を一部免除します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	人間関係づくり支援事業	学校教育課	30,298	基本目標3小戦略①
(4)	特別支援教育支援事業	学校教育課	86,173	基本目標10小戦略③
(5)	就学援助等事業	学校教育課	124,764	
(5)	奨学金貸与事業	学校教育課	30,197	
		計	271,432	

③ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進

- (1) 地域に誇りと愛着を抱き、将来の地域づくりを担い、支える人を育てるため、幼少期から高校期までの継続的で系統的なキャリア教育を地域・学校・家庭が連携して進めます。
- 小・中学校が掲げる「めざす子ども像」の実現に向け、地域・学校・家庭が学校運営協議会で課題を共有
- (2) し、それぞれの役割を提案・相互承認し、連携して取り組みます。また、飯田コミュニティスクールの取組について、地域に向けて発信し周知を図るとともに、全市的な横展開を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	飯田型キャリア教育推進事業	学校教育課	7,711	基本目標4小戦略②
(1)	地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課	1,511	基本目標4小戦略②
(2)	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館	1,927	基本目標4小戦略②
		計	11,149	

④ 食育の推進

- (1) 地域の旬の食材を楽しみ、安心安全な給食提供のために、学校給食における地元産野菜利用率の向上に努めます。
- (2) 学校給食の献立に、郷土食、行事食を取り入れる工夫をします。また「食育の日」を設け、栄養士、調理員と連携し、食の大切さを児童生徒に伝えます。
- 学校給食における域産域消の拡大・有機食材の導入を進めるため、生産者、取扱事業者、調理場を交
- (3) えた研究を進め、有機野菜使用献立を試行するなど学校給食を通じた児童生徒の食育に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	学校給食運営事業	学校教育課	323,356	
		計	323,356	

⑤ 子どもの読書活動の推進

- (1) はじめまして絵本プレゼントやセカンドブックプレゼントなどにより、乳幼児期の読みきかせを通じた親子のふれあい体験や幼児が絵本や物語を楽しむ機会を増やします。
- (2) 小学生が本に関心を持ち自発的な読書が行えるよう支援し、読書習慣の定着を図ります。また図書館等を使って情報を収集し、選択・活用する力を、小中学校を通して段階的に育みます。
- (3) (仮称)駅前プラザ内に中央図書館のサテライト機能を設置し、高校生の読書や探求学習等を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	子ども読書活動推進事業	中央図書館	11,471	基本目標4小戦略①
(2)	学校教育振興事業	学校教育課	161,822	基本目標3小戦略⑧ 基本目標5小戦略⑥
		計	173,293	

⑥ 児童の放課後の居場所づくり

- (1) 児童支援員の確保及び施設や備品等の整備など、児童を受け入れる環境づくりを進めます。
- (2) 4年生以上の高学年の受入希望については、学校運営協議会等とも相談しながら、学校の複合利用も含め地域に合った体制づくりを検討していきます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	児童館・児童センター・児童クラブ運営事業	学校教育課	179,580	
(1)(2)	放課後子ども教室設置運営事業	学校教育課	4,695	
		計	184,275	

⑦ 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組

- 令和3年度に各学校運営協議会で出された意見を参考に「今後の検討の進め方に関する資料(仮題)」を
- (1) 作成し、特色・魅力ある学校づくりや、学校の配置・枠組みについて、各中学校区の実情・課題に合わせて検討を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	小中連携・一貫教育推進事業	学校教育課	899	基本目標3小戦略①
		計	899	

⑧ 防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動適応

- (1) 飯田市通学路安全対策アクションプログラム及び通学路合同点検に基づく通学路の安全対策や安全指導などを進めます。
- (2) 不審者や事件などの情報を、学校や家庭、地域、関係機関等と速やかに共有するとともに、児童生徒の安全を確保するために必要な対応を実施します。
- 小中学校の普通教室及び特別教室等の照明器具のLED化改修を進めるとともに、施設・設備の計画的
- (3) 改修を進めます。またWBGT(暑さ指数)計を活用した熱中症対策など、気候変動を踏まえた対策を徹底します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	学校教育振興事業	学校教育課	161,822	基本目標3小戦略⑤ 基本目標5小戦略⑥
(1)	交通安全施設整備事業	危機管理室	17,979	基本目標12小戦略④
(1)	防災・安全対策事業	土木課	906,196	基本目標2小戦略② 基本目標12小戦略⑤
(3)	学校保健事業	学校教育課	55,604	
(3)	小学校施設改修事業	学校教育課	133,727	
(3)	中学校施設改修事業	学校教育課	167,150	
		計	1,442,478	

補足事項

1 進捗状況確認指標または重要業績評価指標 (KPI)指標について

- ・①、②は、全国平均より低い部分について全国平均を目指します。
- ・③の不登校については、学校に馴染めない児童生徒の多様な場での学びも認め、個々に寄り添った対応が大切と考えますが、不登校児童生徒数の減少も一つの指標であると考え、在籍比前年度以下を目標とします。
- ・④の飯田下伊那産野菜主要10品目は、人参、ほうれん草、小松菜、ピーマン、トマト、キャベツ、キュウリ、タマネギ、ジャガイモ、アスパラガスです。市独自の指標であるため県や国の平均数値はありませんが、国が公表している「学校給食における地場産物を使用する割合」の全国平均が、H30年度26.0%であるため、令和元年度の5割を超える率は高い数値となっており、同程度以上を維持することを目標とします。
- ・⑤は、普段(月曜日～金曜日)1日10分以上読書している割合。全国平均には達しているため、県平均以上を目指します。

2 補足指標

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	
全国学力学習状況調査国語、算数、数学の同一集団の小6から中3の伸び(全国平均差)	国語 -4点 算数・数学 -3点 (R1)	国語±0点 算数・数学 +2点			全国平均
全国学力学習状況調査「英語(外国語)の勉強が好き」の割合(全国平均差)	中 -8点 (R1)	小 -8.2点 中 -5.3点			全国平均
家で自分で計画を立てて勉強していますかの割合(全国平均差)	小 -4点 中 -3点 (R1)	小 -5点 中 -5点			全国平均
全国学力学習状況調査でICT機器の使用頻度「ほぼ毎日」の割合	小 14.1% 中 7.7% (R1)	小 10.9% 中 9.6%			小・中 28%
いじめ解消率	86.6% (R1)	93.2% (R2)			前年度以上
副学籍による交流及び共同学習の希望率	小69.2% 中36.0%	小75.0% 中46.2%			前年度以上
要保護・準要保護の割合	小 12.0% 中 13.6% (R1)	小 12.9% 中 13.4% (R2)			目標数値は設けない
全国学力学習状況調査「人が困っている時に進んで手伝いますか」の割合(全国平均差)	小 -2点 中 -2点 (R1)	小 ±0点 中 ±0点			全国平均
全国学力学習状況調査「家の人と学校での出来事について話をする」「家でどのくらい日本語を話すか」割合(全国平均差)	小 -2点 中 +2点 (R1)	小 ±0点 中 ±0点			全国平均
郷土食、行事食の献立の回数(調理場調べ)	毎月1回以上 (R1)	毎月1回以上 (R2)			毎月1回以上
全国学力学習状況調査「国語で目的に応じて文章を読んで考えたりしている」の割合(全国平均差)	小 +1点 中 -3点 (R1)	小 ±0点 中 +0.6点			全国平均

* 全国学力学習状況調査の指標は、R2年度は調査が行われなかったため、R1年度の数値を基準とします。

* ICT機器の使用頻度については、小中とも、R1年度小学校数値の2倍の率を目指すことを目標とします。

基本目標	4 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む
戦略 (考え方)	◆ 住民の自治の力を高め、地域の担い手を育むため、住民の主体的な「地域の自然や文化などの地域資源を生かした学習や地域の課題解決に向けた学習」を支援します。 ◆ LG(地域・地球)飯田教育の理念や地育力を活用した環境学習、ふるさと学習、体験学習等を幼児期から高校まで体系立て、子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育み、多様な自己実現の可能性を広げます。 ◆ 飯田の価値と魅力を学び次代に繋げると共に、その素晴らしさを発信します。 ◆ 民俗芸能などの伝統文化や恒川官衙遺跡、飯田古墳群、名勝天龍峡などの地域資産を地域の宝として守り、発信します。 ◆ 誰もが安全で快適に利用できる社会教育施設の整備やサービスを向上させます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	R6
① 住んでいる地区や飯田市の自然、歴史、文化等に誇りや愛着がある人の割合(%)	68.7					74.3 前期4年の基準年 H27の数値
② 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある (小中学校は全国学力・学習状況調査、高校は学びの指標) (高校生についてはR4.4月に把握し改めて目標設定する)	小6 55.9% (県 57%) (国 54.5%) 中3 40.0% (県 43.9%) (国 39.4%) 高 ー (R1)	小6 52.6% (県 57.1%) (国 52.4%) 中3 48.40% (県 49.2%) (国 43.8%) 高 ー (R1)				県平均以上
③ 人の役に立つ人間になりたいと思う (小中学校は全国学力・学習状況調査、高校は学びの指標) (高校生についてはR4.4月に把握し改めて目標設定する)	小6 95.5% (県95.3%) (国95.2%) 中3 95.0% (県94.8%) (国94.3%) 高 ー (R1)	小6 95.8% (県 95.9%) (国 95.5%) 中3 96.5% (県 95.4%) (国 95.0%) 高 ー (R1)				現状を維持
④ 地域資源(指定文化財等)の活用件数	32					50 指定文化財数の 1/4
⑤ 霜月祭・伝統人形芝居の保存会員数	202					現状を維持

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 住民の主体的な学びあいの支援
(1) 飯田市や市内各地区の自然、歴史、文化、産業といった地域資源を活用した学びや住民の関心に応える多様な学習を支援するとともに、地域課題の解決を目指す学習活動を推進します。 (2) 多文化共生社会を実現するため、多様な価値観や国際感覚を養うとともに、平和学習、人権教育を推進します。 (仮称)飯田駅前プラザを学習から実践に繋げるまちづくりの新たな拠点として整備します。また、多様な (3) 価値観を持った人々の交流・気づき・学びから地域の将来を担う人材を育成やムスまちづくり活動を支援する取組を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	文化財保護事業	文化財保護活用課	42,137	
(1)	歴史研究所事業	歴史研究所	15,142	基本目標4小戦略③
(1)	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	5,400	基本目標4小戦略③
(1)(3)	図書館事業	中央図書館	316	基本目標4小戦略③
(1)(3)	図書購入・提供事業	中央図書館	56,923	
(1)(2)(3)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,583	基本目標4小戦略③④ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略①③ 基本目標11小戦略①
(2)(3)	平和学習・人権教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	1,624	基本目標10小戦略②
(2)(3)	高校生等次世代育成事業	公民館	3,044	基本目標4小戦略②
(2)(3)	大学とのネットワーク構築事業	企画課	9,462	基本目標2小戦略③ 基本目標4小戦略②③
(2)(3)	市民協働推進事業	ムトスまちづくり推進課	10,559	基本目標10小戦略①
(2)(3)	人権・男女共同参画推進事業	男女共同参画課	2,772	基本目標6小戦略③ 基本目標10小戦略①②
(2)(3)	多文化共生社会推進事業	男女共同参画課	6,648	基本目標10小戦略③
(3)	公民館維持管理事業	公民館	194,362	基本目標2小戦略② 基本目標4小戦略⑤
(3)	公民館改修事業	公民館	59,798	基本目標2小戦略② 基本目標4小戦略⑤
(3)	図書館・管理運営事業	中央図書館	107,408	基本目標4小戦略⑤
(3)	子ども読書活動推進事業	中央図書館	11,471	基本目標3小戦略⑤
(3)	中心市街地活性化推進事業	商業・市街地活性化課	13,121	基本目標2小戦略②
		計	551,770	

② 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開

- (1) 飯田型キャリア教育を軸として、幼児期から高校まで、発達段階に応じた育ちを地域社会と学校教育が連携しながら取り組みます。
- 各高校の実情を踏まえ、地域人教育・学輪IIDAフィールドスタディ等、高校生の探求学習を支援し、ふる
- (2) さとへの理解を深めていきます。また、(仮称)飯田駅前プラザにおいて、高校生や若者の学習・交流活動や地域づくり活動を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館	1,927	基本目標3小戦略③
(1)	乳幼児親子学習交流支援事業	公民館	1,188	基本目標6小戦略③
(1)(2)	高校生等次世代育成事業	公民館	3,044	基本目標4小戦略①
(1)(2)	飯田型キャリア教育推進事業	学校教育課	7,711	基本目標3小戦略③
(1)(2)	地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課	1,511	基本目標3小戦略③
(1)(2)	大学とのネットワーク構築事業	企画課	9,462	基本目標2小戦略③ 基本目標4小戦略①③
		計	24,843	

③ 飯田の価値と魅力の学びと発信

- (1) 地域の自然と文化や先人の営みなどを明らかにする学術研究を学輪IIDA等の地域外の知見も活用しながら進めます。また、様々な技術を活用し魅力ある展示や講座により研究成果を地域に還元するとともに、SNSなどを活用しながら飯田の魅力として発信します。
- (2) 歴史研究所、美術博物館、図書館、公民館等の関係機関が連携して、市民学習・研究活動を支援します。また、「伊那谷の自然と文化」の研究と地域の価値や魅力を次世代に繋げる新たな人材の育成を、研究団体とともに進めます。
- (3) 考古博物館で史跡「飯田古墳群」や市内全域の考古資料を用い、飯田市の魅力を発信できるよう取組を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	文化財保護事業	文化財保護活用課	42,137	
(1)(2)	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	5,400	基本目標4小戦略①
(1)(2)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	15,064	基本目標5小戦略②
(1)(2)	美術博物館プラネタリウム運営事業	美術博物館	9,967	
(1)(2)	歴史研究所事業	歴史研究所	15,142	基本目標4小戦略①
(1)(2)	大学とのネットワーク構築事業	企画課	9,462	基本目標2小戦略③ 基本目標4小戦略①②
(2)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,583	基本目標4小戦略①④ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略①③ 基本目標11小戦略①
(2)	図書館事業	中央図書館	316	基本目標4小戦略①
(3)	埋蔵文化財調査事業	文化財保護活用課	26,315	
(3)	飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	1,000	
(3)	恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	32,145	
		計	168,531	

④ 伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進

- (1) 地域にある文化財の魅力や価値を市民が学ぶ活動を支援するとともに、継承し活用する活動を支援します。また、地域の文化財に関する学びの支援とともに、史跡・名勝はじめ地域での文化財活用の取り組みを支援します。
- (2) 南信州民俗芸能継承推進協議会との協働連携や各保存会への活動支援を通じて、遠山霜月祭、伝統人形芝居、獅子舞などの魅力発信と後継者育成に努めます。また、遠山の霜月祭のユネスコ無形文化遺産登録に向けた市民の取り組みを支援します。
- (3) 名勝天龍峡・恒川官衙史跡公園整備事業を通じた「2000年浪漫の郷」づくり・史跡飯田古墳群の活用において、学習会や体験ツアーを開催するとともに、市民ガイドなど市民自ら発信できるよう取り組みます。
- (4) 北田遺跡公園の縄文時代復元住居の改修を地域と協働して取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業	美術博物館	2,831	
(1)	南信濃民芸等関係施設管理運営事業	美術博物館	4,231	
(1)(2)	美術博物館資料調査研究・収集保管事業	美術博物館	12,648	
(1)(2)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,583	基本目標4小戦略①③ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略①③ 基本目標11小戦略①
(1)(2)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	46,992	基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略③
(1)(2)(3)(4)	文化財保護事業	文化財保護活用課	42,137	
(3)	恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	32,145	
(3)	飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	1,000	
		計	153,567	

⑤ 社会教育施設の整備、サービス向上

- (1) 地域コミュニティの拠点である公民館や、美術博物館、図書館など社会教育施設の計画的な改修・整備を進めます。
- (2) 公民館、文化会館について、オンラインでの申請手続きから許可証の発行までが可能なシステムの構築を進めます。
- (3) 飯田市公民館の(仮称)飯田駅前プラザ移転について市民の皆さんの意見を聞きながら進めるとともに橋南公民館の地域交流センター(りんご庁舎)への移転に向けて調整を図ります。
- (4) 地域の貴重な資料等の収蔵場所の確保について検討を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	文化財保護事業	文化財保護活用課	42,137	
(1)(2)	公民館維持管理事業	公民館	194,362	基本目標2小戦略② 基本目標4小戦略①
(1)	図書館管理運営事業	中央図書館	107,408	基本目標4小戦略①
(1)	美術博物館管理事業	美術博物館	75,508	
(1)(3)	公民館改修事業	公民館	59,798	基本目標2小戦略② 基本目標4小戦略①
(2)	文化会館等管理運営事業	文化会館	70,804	
		計	550,017	

⑥ 大学の機能を活かした学びの推進

- (1) 学輪IIDA等の飯田に集まる多様な地域外の知と、地域に蓄積されている知を、市民や研究者が学び合え、交流できる機会を創出することで人材育成を進めます。
- (2) 飯田市内への4年制大学の設置を目指すにあたり、官民一体で組織する信州大学新学部誘致推進協議会と連携し、大学との連携体制の構築および地域の受け入れ態勢の準備を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	大学とのネットワーク構築事業	企画課	9,462	基本目標2小戦略③
(2)	大学設置活動推進事業	企画課	6,000	
		計	15,462	

補足事項

指標や事務事業に関すること

①住民の主体的な学びの支援

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
社会教育関係団体数	1,145				現状維持
市民主体の各種講座・学級・教室への参加者数	45,562 (R1)				現状維持
地域の研究団体等調査支援数	調査中				—
市民意識調査 住んでいる地域や周辺に他地域から移住者(外国人を含む)が来ることについてどう考えますか (「積極的に受け入れる」「どちらかと言えば受け入れる」と回答した割合)	79.4				80%

②子どもの主体性、創造性、社会性、協調性などを育む学習の展開

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
各種講座や学習活動への参加者数 (乳幼児・子ども対象・CS事業)	18,060 (R1)				現状維持
今住んでいる地域の行事に参加している (全国学力・学習状況調査) (高校生についてはR4.4月に把握し改めて目標設定する)	小6 88.2% (県89.5%) (国68%) 中3 73.4% (県70.5%) (国50.6%) 高校 — (R1)	小6 86.0% (県83.7%) (国58.1%) 中3 65.44% (県64.0%) (国43.7%) 高校 —			小6 93% 中3 78% 高校 —

③飯田の価値と魅力の学びと発信

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
飯田の価値と魅力の情報発信数	830 (R1)				840 H29～R1の平均
美術博物館来館者数	44,442 (R1)				45,000
収蔵物や地域所在の資料を調査研究し発表した件数	217 (R1)				220 現状維持
調査研究に関する市の刊行物及び発表した論文数	20件 (R1)				20件 現状維持
地域を学ぶ専門的な講座参加者数	8,806 (R1)				現状維持
考古博物館を利用した文化財活用取組(回数)	—				7

④伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
指定文化財数(累計)	191				200
史跡名勝を活用したツアー(人・回)	20・1				60・3
霜月祭の保存伝承活動回数	90				現状維持
伝統人形芝居の保存伝承活動回数	9				現状維持

⑤社会教育施設の整備、サービス向上

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
社会教育施設の利用者数	957,028 (R1)				1,000,000 H30年の利用者数
長寿命化及び機能向上の改修をした施設数	0				検討中

基本目標	5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる
戦略 (考え方)	◆ 人形劇の公演・創造活動を楽しみ、その魅力を発信するとともに、「人形劇のまち」を改めて強くアピールし、国内外との交流を進めます。 ◆ 多様な文化芸術の鑑賞機会や文化芸術活動の取組の充実を進めます。 ◆ 飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。 ◆ 市民の様々なスポーツ活動を支援し、発信するとともに、スポーツや運動習慣の定着と、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。また、飯田市の特徴を活かしたスポーツイベントを開催します。 ◆ トップアスリートの指導やプレーに触れる機会、スポーツ指導者の育成などを通じて、競技スポーツ人口を拡大し競技志向を高めます。また、地域でトップアスリートを育てることが出来る取組を目指します。 ◆ 全市型競技別スポーツスクールなど中学生期におけるスポーツの多様な選択肢を充実します。 ◆ 誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備やサービスを向上させます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 市内で上演した人形劇公演数	16	146			500
② 人形劇を通じて交流した国内外の交流数(回)	3	3			15
③ 文化活動を1回以上行っている人の割合(%) ※市民意識調査による。音楽、演劇、映画、文学、茶道などの活動・鑑賞を年1回以上行った人の割合	42.2				65.0
④ 社会教育団体(文化・芸術・芸能活動)申請登録会員延べ数(人)	7,692				8,000
⑤ 成人の週1回以上運動・スポーツに親しむ人の割合(%) ※市民意識調査	48.2 (R1)	48.3 (R2)			50.0
⑥ 子どもの体力・運動能力調査におけるA・Bの割合(%)	38.5 (R1)	未実施 (R2)			全国値以上 (R1:43.2)
⑦ 全市型競技別スポーツスクールの種目数	13	15			16
⑧ 運動・スポーツをする以外に、見たり、大会運営等に関わっている人の割合(%) ※R4新規	-	-			44.0 (県R2:43.2)

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 「人形劇のまちづくり」の推進

- (1) みんなが仲間として参加できるいい人形劇フェスタの開催に向け支援します。
- (2) 市民が年間を通じて人形劇を観劇する機会、竹田人形館及び川本人形美術館での鑑賞や体験の機会を提供します。
- (3) 学校・保育園等で行われる人形劇活動や市民が演じることを楽しむ創造活動を支援します。
- (4) AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)の情報発信や、シャルルヴィル・メジエール市など人形劇でつながる都市市民が交流する機会づくりをオンラインツールの活用で支援し、その取組を広く発信していきます。
- (5) 伝承されている人形浄瑠璃を保存、継承するための活動を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)(4)(5)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	46,992	基本目標4小戦略④ 基本目標10小戦略③
(2)	竹田人形館管理運営事業	文化会館	9,241	
(2)	川本人形美術館管理運営事業	文化会館	29,454	
(5)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,583	基本目標4小戦略①③④ 基本目標10小戦略①③ 基本目標11小戦略①
		計	97,270	

② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援

- (1) 「菱田春草」をはじめとした地元ゆかりの作家の作品の魅力を紹介します。
- (2) あらゆる年代の市民が多様な舞台芸術を鑑賞できる機会を設けます。
- (3) 市民が取り組む舞台芸術の創造活動を支援します。
- (4) オーケストラと友に音楽祭、伊那谷文化芸術祭など市民が舞台芸術を鑑賞し、自ら発表できる機会を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	15,064	基本目標4小戦略③
(2)(3)(4)	文化会館文化芸術事業	文化会館	19,271	
		計	34,335	

③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり

- (1) 新文化会館の建設に向けて、市民参加による構想・計画づくりを進めるとともに、駐車場や交通アクセス、周辺環境などを踏まえた建設適地の検討を行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	文化施設整備事業	文化会館	2,267	
		計	2,267	

④ 市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

- スポーツ推進委員会を中心に、コロナ禍での運動習慣の定着に向けてウォーキングを推進するとともに、障がい者や高齢者を含めた多世代が地域で交流できるボッチャ等のニュースポーツの普及に取り組みます。
- (1) 運動好きの子どもを増やし、体力・運動能力の向上をめざすため、園児や保護者を対象としたコーディネーショントレーニングを実施するとともに、学校での一校一運動に取り組みます。
- (2) 飯田やまびこマーチや風越登山マラソン大会が多くの市民に参加いただく機会になるように取り組みます。
- (3)

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	市民スポーツ推進事業	生涯学習・スポーツ課	9,788	基本目標5小戦略⑥
		計	9,788	

⑤ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

- (1) 競技スポーツへの関心を高めるため、飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブと連携してスポーツ教室等を開催し、トップアスリートのプレーに触れ交流・指導を受けられる機会を提供します。
- (2) 飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブと連携し、各競技団体の活動や指導者の育成を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	競技力向上支援事業	生涯学習・スポーツ課	7,983	
		計	7,983	

⑥ 中学生期の多様なスポーツ環境の充実

- (1) 民間や地域のスポーツクラブに加え、全市型競技別スポーツスクールを開催し、指導体制を含めた地域におけるスポーツ環境の充実に取り組みます。
- 筑波大学アスレチックデパートメントと連携して、ウェルビーイング※を目指したスポーツ活動の実現に向けて、部活動の活動運営の指針作りとそれに基づく実践研究を進めます。また、適正なスポーツ活動の推進に向けて、保護者や地域の指導者を対象にした研修会を開催します。
- ※ウェルビーイング:心も体も健康で幸せな状態
楽しい、熱中する、仲良く、充実感を感じる、成長する等のさまざまな欲求を踏まえた部活動の運営
- (2) 放課後の部活動を行わない期間(「冬季ジブン・チャレンジ期間」)の過ごし方について、生徒が具体的な目標をもって、やりたいことや伸ばしたいことに挑戦できるよう支援します。
- (3)
- (4) 中学校の部活動については、「飯田市中学校部活動の活動指針」に基づき、取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	市民スポーツ推進事業	生涯学習・スポーツ課	9,788	基本目標5小戦略④
(2)(3)(4)	学校教育振興事業	学校教育課	161,822	基本目標3小戦略⑤⑧
		計	171,610	

⑦ スポーツ施設の整備、サービス向上

- (1) 市民がスポーツ施設を安全で快適に利用できるように、計画的に体育施設の改修を進めます。また、グラウンドの芝生化について、スポーツ協会や競技団体と協議し検討を進めます。
- (2) 体育施設について、オンラインで申請手続きから許可書の発行までが可能なシステムの構築を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	体育施設等維持管理・整備事業	生涯学習・スポーツ課	400,150	
		計	400,150	

補足事項

補足指標

①「人形劇のまちづくり」の推進

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
人形劇フェスタ参加証の販売数	12,028(R1)	4,062			12,500
飯田で上演した人形劇の観劇者数	800	6,705			18,000
川本人形美術館の入館者数	5,808	5,687			20,200
竹田人形館の入館者数	1,484	1,289			3,800

②文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
美術博物館の展覧会、市民ギャラリーの観覧数	49,758(R1)				50,000
舞台芸術の鑑賞会実施回数及び市民の文化芸術発表会の実施回数	17				70

④市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
飯田やまびこマーチの市民参加者数	3,847(R1)	中止(R2)	468(R3)		4,000
風越登山マラソン大会の市民参加者数	268(R1)	中止(R2)	中止(R3)		500
スポーツ推進委員の活動回数(講習会指導等)	135(R1)	59(R2)			150

⑤競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
スポーツ講習会参加者数	3,934(R1)	1,205(R2)			4,500
スポーツ大会参加者数	13,905(R1)	7,335(R2)			15,000

⑦スポーツ施設の整備、サービス向上

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
体育施設年間利用者数(人)	448,615(R1)	277,984(R2)			460,000
長寿命化及び機能向上の改修をした施設数	0				検討中



基本目標	6 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
戦略 (考え方)	◆ 結婚し家庭を持ちたい希望の実現に向けて、各種の出会いの機会の創出を図るとともに、結婚相談などのサポートを強化します。 ◆ 産み育てたいと思う子どもの数の希望の実現に向けて、分娩の選択肢の多様化に伴う体制の整備や産後ケアの充実を図るとともに、不妊治療に対する助成を強化します。 ◆ 児童虐待の予防・早期発見・総合的支援を行うとともに、発達に偏りのある児童の子育て相談支援を充実します。 ◆ コロナ禍において一層懸念される「孤」育てを解消するため、父親、祖父母などの家族をはじめ、地域のあらゆる世代が地域の子育てに参加できる仕組みづくりを推進するとともに、家族みんなで楽しむ子育て情報発信の強化を図ります。 ◆ 産休・育休後の職場復帰の希望の実現に向けて、事業所における働き方改革を促します。 ◆ 共働き世帯・ひとり親世帯が安心して子育てできるよう、多様な手法を活用しつつ3歳未満児保育・保育標準時間の充実を図るとともに、スタッフの人材の確保と育成を推進します。 ◆ 豊かな自然や地域資源を活用してたくましい心と体・自己肯定感と協調性を育む「いいだ型自然保育」の魅力を発信します。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 婚姻件数(件)	470 (R1)	409 (R2)			500	
② 出生数(人)	726 (R1)	654 (R2)			680	
③ 合計特殊出生率	1.75 (R1)	1.64 (R2)			1.84	
④ 乳幼児健診・乳幼児相談の受診率(%)	95.8% (R1)	96.4 (R2)			97.0	
⑤ 産後の指導・ケアを十分に受けることが出来たと回答する人の割合(%)	93.4% (R1)	92.7 (R2)			95.0	
⑥ 未満児保育(0-2歳児)の受入れ数(人) [毎年12月末日現在]	1,256	1,210			1,294	
⑦ 信州やまほいく認証施設数(園)	23	23			25	
⑧ 産みやすいまちだと思う人の割合(%)	36.60% (R1)	44.0% (R2)			50.0	
⑨ 育てやすいまちだと思う人の割合(%)	69.70% (R1)	71.60% (R2)			75.0	

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 結婚の希望をかなえる

- (1) 結婚したいと思う若者の自分磨きを支援するとともに、地域でのマッチングイベントや移住を希望する方を対象とした出会いの機会を創出し、婚姻件数の増加を目指します。
- (2) 出会いの創出から成婚までを担う結婚相談員のお見合い活動を支援します。
- (3) 新たに婚姻した世帯の新生活を経済的に支援するため、新居の住宅取得費又は賃借料等を補助します。
- (4) 近い将来、進学や就職などの大きな選択をする地域の高校生に、今後の生き方について考えてもらうライフデザインの啓発事業を実施します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)(4)	ともに未来を支え合うパートナーづくり事業	福祉課	28,252	
		計	28,252	

② 出産の希望をかなえる

- (1) 不妊・不育治療における精神的・経済的な負担の軽減を図るため、国の保険適用後の動向を確認し支援策を継続します。
- (2) 産後の悩みや不安が大きい時期に利用できる産後支援(家事育児支援)事業について、他の産後サポート事業とあわせ、育児の負担と不安軽減につながる必要な支援を実施します。
- (3) 地域での分娩機能を堅持するとともに、市立病院と連携した地域の産科医や助産院での健診や分娩について選択ができるよう情報提供を行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	不妊治療費助成事業	保健課	19,385	
(1)(2)(3)	妊産婦健診事業	保健課	99,461	
(1)(2)(3)	乳幼児保健事業	保健課	23,724	基本目標8小戦略③
(1)(2)(3)	市立病院運営事業	市立病院	16,917,800	
		計	17,060,370	

③ 孤立を防ぎ、子育ての希望をかなえる

- (1) 児童虐待や子育ての行き詰まりを予防し、早期発見・早期対応に努めます。また、発達に偏りのある児童の発達支援、家族の介護や世話について大人が担うようなケア責任を引き受けている18歳未満の子ども(ヤングケアラー)がいる家庭の実態把握など、子育ての総合的な相談支援体制を充実します。
- (2) オンライン型の子育て相談や子育て交流の機会をつくるとともに、地域の子を地域で育む交流の場としての役割を推進するなど、地域子育て支援の拠点であるつどいの広場事業の充実を図ります。
- (3) 家族やママ友らとともに子どもの成長をみんなで楽しめる、子育て応援アプリを導入し、オンライン相談の環境を整えるなど、孤立の解消を図ります。
- (4) “いい育児の日”や県の「子育て川柳」「ながのパパ手帳」を活用するなど、市民、地域、事業所へ向けて子育てや働き方に関する意識啓発を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	地域子育て支援事業	子育て支援課	107,669	基本目標8小戦略③
(1)(3)	子ども子育て支援事業	子育て支援課	19,489	
(1)	児童発達支援センター事業	子育て支援課	83,042	
(2)	乳幼児親子学習交流支援事業	公民館	1,188	基本目標4小戦略②
(4)	人権・男女共同参画推進事業	男女共同参画課	2,772	基本目標4小戦略① 基本目標10小戦略①②
		計	214,160	

④ 飯田の持ち味を活かし、豊かな育ちを支える

- 乳児・3歳未満児保育の高まりなど多様な保育ニーズに応えるため、「子ども・子育て支援新制度」などを活用しながら保育施設整備を推進します。また、保育人材を確保するため、地域内外の有資格者へ積極的な働きかけを行うとともに出身者を呼び戻す取組を進めます。
- (2) 豊かな自然や地域資源を活用し心と体の発達に加えて、自己肯定感と協調性を育む「いいだ型自然保育」の取組を推進するとともに動画情報などを発信し、子育て環境としてのブランド化を進めます。
- (3) 低所得者世帯やひとり親世帯など困難さを抱える家庭の進学希望をかなえるため、関係団体等と連携して学習活動を支援します。
- (4) 和田保育園の園児確保に向けて、地域の取組を支援する市内プロジェクト体制を整え、園存続に向けた取組を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	民間保育所特別保育事業	子育て支援課	195,960	
(1)	民間保育所等施設整備事業	子育て支援課	259,408	
(1)	保育士等人材確保支援事業	子育て支援課	33,613	
(2)(4)	公立認定こども園管理運営事業	子育て支援課	650,873	基本目標2小戦略①
(3)	ひとり親家庭等福祉推進事業	子育て支援課	13,835	
(3)	生活困窮者支援事業	福祉課	33,364	基本目標8小戦略③
		計	1,187,053	

基本目標	7 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
戦略 (考え方)	◆ 市民一人ひとりが、心身ともに健やかに暮らすために、市民(個人・家族)、地域(団体・機関等)、行政(専門職)等の多様な主体が一緒になって役割を発揮し、健康長寿のまちをつくります。 ◆ 若い世代や働き盛り世代において生活習慣病の重症化予防に取り組むほか、口腔衛生(お口の健康)の強化や健康ポイント制度の導入、また高齢者の多様な社会参加を促すなど健康増進に効果的な取組を強化し、人生100年時代を生き生き暮らす「幸」齢社会をつくります。 ◆ 健康寿命が延伸されるまちづくりに向け、第8期介護保険計画の下、介護予防に一層力を入れるとともに、必要な方に介護サービスが届くよう努めます。 ◆ 新型コロナウイルス感染症等の蔓延により当地域の医療崩壊を招かないよう、医療機関と連携し、検査・医療体制の維持と充実を図ります。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標(KPI)

指標(単位) 把握方法		基準	進捗			目標
		R2	R3	R4	R5	R6
①	国民健康保険加入者の特定健診受診率(%)	31.7				50.0
②	企業等に行う出前健康講座の新規団体の件数(企業)	1				20 (累計)
③	要介護認定者数・出現率(※1)	6,148人 18.73%	5,978人 18.16%			6,490人 19.83%
④	健康寿命(※2)	男	80.93歳 (R1)			前年を上回る健康寿命の延伸
		女	84.50歳 (R1)			
※1 要介護認定者数・出現率のR6目標値は高齢者福祉計画・(第8期)介護保険事業計画にある令和7年推計値であり、それ以下に抑制することを目標とします。 ※2 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。前後3年間の平均で確定値を算出しています。						

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 新型コロナウイルス感染症対策の推進
(1) 希望する市民に対してワクチン接種を円滑に実施するため、体制を整備し取り組みます。 (2) 地域外来・検査センターを運営し、かかりつけ医・保健所から依頼された方に対して迅速に検査を実施し、感染拡大防止に努めます。 (3) 無症状の市民が希望して実施する抗原定量検査の自費検査費用の助成は、現在の対象者に保育従事者を加え、社会・経済活動の維持に寄与します。 (4) 次なる新感染症発生時に活かせるよう、今般の新型コロナウイルス感染症への当地域における対応について、飯田保健所や飯田医師会など関係機関と協力して検証します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(4)	新型コロナウイルス感染症予防接種事業	保健課	138,958	
(2)(4)	地域外来・検査センター事業	保健課	59,608	
(3)(4)	新型コロナウイルス感染症検査補助事業	保健課	5,952	
		計	204,518	
補足事項				
指標①国民健康保険加入者の特定健診受診率の確定は次年度の10月になるため、基準年度は2019年度とし、目標年度を2023年度とする。				

② 働き盛り世代からの健康づくり

- 生活習慣を見直し、予防のスタートとなる特定健診の受診率を向上させ、継続受診につながるよう受診勧奨を実施します。また、かかりつけ医からの健診受診勧奨や検査結果データの提出を依頼していきます。
- 重症化予防対象者の生活実態を把握するとともに、継続した保健指導を実施し、特定健診の継続受診につなげます。
- 働き盛り世代からの生活習慣病予防のため、企業と連携して出前健康講座を開催します。また、青壮年期である消防団健診、国保40歳未満健診、他団体の健診結果を集積・分析し、生活習慣病予防につながる取組を検討していきます。
- 歯周病に視点を置いた新たな歯科検診を導入します。関係機関と連携し、定期的な歯科健診受診へとつながるきっかけをつくります。
- 予防・健康づくりの推進のため、健康状態や活動状況をみえる化する取組(健康ポイント制度)について庁内会議を行い、アプリ等の導入について検討を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	国民健康保険特定健康診査・特定保健指導事業	保健課	56,447	
(3)(4)(5)	市民の健康づくり事業	保健課	5,274	
		計	61,721	

③ 高齢期の健康づくり(保健事業と介護予防の一体的実施)

- 国保データベース(KDB)システムを活用して、医療レセプト・健診・介護のデータ等を分析し、健康課題の把握を行い、効果的な事業の実施につなげていきます。
- 国保から後期高齢者医療制度に移行した被保険者に対し、健診の受診を働きかけ、その結果から継続した保健指導を行い、生活習慣病重症化予防に取り組みます。
- 医療、介護データ等分析結果から、課題となった脳血管疾患・人工透析等の原因疾患である高血圧について予防の教室や保健指導を実施します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	保健課	9,571	
(3)	高齢者健康づくり事業	保健課	9,575	
		計	19,146	

④ 介護予防(重度化防止)の推進

- 日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置することを目指します。また、基幹包括支援センター係と地域包括支援センターとの連携を緊密に行い、充実した初期相談対応と軽度者(要支援者・総合事業対象者)の自立に向けた支援を進めます。
- 軽度者(要支援者・総合事業対象者)を対象として、それらの状態になる前の生活に戻れるよう、リハビリ専門職等がプログラム提供する短期集中通所型サービスC事業を継続実施します。また、通所による利用が困難な地域においては訪問により対応します。
- モデル地区での通いの場の再構築を進め、介護予防への意識の醸成と、サロンや通所型サービスB事業等通いの場への多様な参加を促進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(3)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	183,771	基本目標8小戦略③
(2)	介護予防・生活支援サービス事業	長寿支援課	328,106	
(3)	地域介護予防活動支援事業	長寿支援課	1,930	
		計	513,807	



基本目標	8 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
戦略 (考え方)	◆ 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指して、地域住民や多様な主体と協働で地域福祉を進めます。 ◆ 横断的な課題や現在の福祉制度の狭間の課題に対して、丁寧な対応ができる包括的な支援体制を構築し、必要とする支援につなげ、課題解決に向けて取り組みます。 ◆ 障がい者の社会参加を進めると共に、誰もが暮らしやすい社会を目指してユニバーサルデザインを推進します。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 創出される地域福祉活動のモデル数	45				85	
② 地域福祉課題検討会開催地区数(地区)	13				20	
③ 重層的支援相談対応延べ件数(件)	—				800	
④ 家庭訪問件数(件)	—				150	
⑤ 障がい者の社会参加を促進する事業への参加者数(人)	600				1,000	

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進				
(1) 各地区で福祉課題検討会を開催し、福祉課題を洗い出し、課題解決のための取組に繋がります。 (2) 地区が抱える福祉課題の解決に向けて、地域福祉コーディネーターと地域住民が連携した取組を支援します。 (3) 新たに創出される地域福祉活動を支援し、先進事例の横展開を図ります。 (4) 地域福祉活動をわかりやすく進められるよう、福祉課題検討会で創出された地域福祉活動の先進事例を動画情報で発信します。				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)(4)	地域福祉推進事業	福祉課	84,155	基本目標8小戦略②
(1)(2)	社会福祉推進事務	福祉課	7,689	
(1)(3)	福祉委員活動事業	福祉課	42,749	基本目標8小戦略②
		計	134,593	

② 住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築

- (1) 地域での見守り・支え合い活動を進めるために、当事者と双方向性のある住民支え合いマップの整備を進め、地域の見守り体制を強化します。
- (2) 地域住民の一人ひとりが自立した生活ができるよう、地域で支え合う自立支援の体制づくりを進めます。
- (3) 地域での民生児童委員と健康福祉委員の連携を強化し、個人情報適切な活用により地域福祉の推進を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	地域福祉推進事業	福祉課	84,155	基本目標8小戦略①
(3)	福祉委員活動事業	福祉課	42,749	基本目標8小戦略①
		計	126,904	

③ 複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築

- (1) 「福祉まるごと相談窓口」の相談機能を充実させるとともに、相談支援機関と連携を図り、包括的に受け止める体制を強化します。
複合化・複雑化した課題であるため制度に繋がりにくい人や、自ら支援に繋がることが難しい人に、アウトリーチ※等を通じた継続的支援を届けます。
※アウトリーチ:必要な支援が届いていない人に支援を届けるための様々な働きかけ
- (2) リーチ※等を通じた継続的支援を届けます。
※アウトリーチ:必要な支援が届いていない人に支援を届けるための様々な働きかけ
- (3) 人や地域とのつながりが希薄な世帯に対して、ニーズや課題を把握し、地域の社会資源の活用や、新たな社会資源の開拓を通じて社会とのつながりづくりに向けた支援をします。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	重層的支援体制整備事業	福祉課	24,131	
(1)(2)	生活困窮者支援事業	福祉課	33,364	基本目標6小戦略④
(1)(2)	地域子育て支援事業	子育て支援課	107,669	基本目標6小戦略③
(1)(2)	乳幼児保健事業	保健課	23,724	基本目標6小戦略②
(1)	障害福祉推進事業	福祉課	63,595	基本目標8小戦略④
(1)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	183,771	基本目標7小戦略④
(3)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	44,515	基本目標8小戦略④
		計	480,769	

④ 障がい者の社会参加の推進

- (1) 共生社会の実現に向け、障がいに対して正しい理解を深めるとともに、障がい者自らも参加する文化芸術作品展や参加型イベント、パラスポーツ体験等の機会を拡大し、障がい者の社会参加を推進します。
- (2) 誰もが暮らしやすい環境を整備していくために、ユニバーサルデザインの考え方や方法を市民とともに学習する機会を作ります。また、誰にも分かりやすいトイレマップの作成に取り組みます。
- (3) 児童発達支援、放課後等デイサービスでの適切なサービスを提供し、発達障害等により育ちに困難を抱える子ども・家庭への途切れのない支援を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	障害福祉推進事業	福祉課	63,595	基本目標8小戦略③
(1)(2)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	44,515	基本目標8小戦略③
(3)	障害福祉サービス等給付事業	福祉課	2,454,604	
		計	2,562,714	

基本目標	9 20地区が輝く活き活きとした地域づくりを地域主体に進める
戦略 (考え方)	◆ 20地区の基本構想と基本計画の実現に向けて、それぞれの地区が個性を生かして魅力的な地域をつくる取組を支援します。 ◆ コロナ禍を乗り越え、時代の変化に対応していくための自治活動組織の改革改善の取組を支援します。 ◆ 地域課題への対応や地域の魅力づくりに取り組む運営組織の立ち上げと活動を支援します。 ◆ 地域の担い手を確保し活力を維持するため、関係人口と移住・定住人口を拡大する「20地区田舎へ還ろう戦略」を推進します。 ◆ 中山間地域が持続的で元気ある地域であり続けるための取組を、地域と行政の協働により進めます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	R6
① 中期期間中に地区基本構想・基本計画の改定・見直しを行った地区数(地区)	—	2				7 (累計)
② 中期期間中に新たにまちづくり委員会の組織・事業の見直しを行った地区数(地区)	—	17				20
③ まちづくり委員会が関わる地域運営組織数(特別委員会、NPO等、任意組織)	46	62				50
④ 自治活動組織への加入率(%)	71.3 (R1)	70.4 (R2)				73.0
⑤ 中期期間中に加入促進コーディネーター活動で自治活動組織への加入に至った件数(件)	—	233 (R2)				840 (累計)
⑥ 「飯田市20地区応援隊」の寄附件数(件)	51 (R1)					60
⑦ 「20地区田舎へ還ろう戦略」により5人以上の移住者の誘致が実現した中山間地区数(地区)	—					7

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 住民みんなで進める自治を育む
(1) 地区基本構想の実現に向けた具体策を展開します。 (2) まちづくり委員会において地区の実情に応じた組織改編を進めます。 (3) 時代の変化に即した地域づくりやコミュニティ維持に必要な事業への整理を進め、役員の負担軽減につなげます。 (4) パワーアップ地域交付金の有効性を高め、くらしやすく魅力的な地域づくりを進めます。 (5) 地域課題に応じ、その解決に取り組む組織の立ち上げ及び育成を図ります。 (6) 各地区において自治活動組織加入率1%上昇を目指す取り組みを支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	地域自治組織運営事業	ムトスまちづくり推進課	2,986	
(4)(5)(6)	地域自治組織助成事業	ムトスまちづくり推進課	132,853	
		計	135,839	

② 地域の担い手を確保し、活力を維持するための「20地区田舎へ還ろう戦略」の推進

- (1) 20地区それぞれが主体となり関係人口・定住人口を拡大していく「田舎へ還ろう戦略」について、各地区の取組を共有しながら、地区の個性と魅力を生かした活動を支援・推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	ムトスまちづくり推進課	3,268	基本目標2小戦略③
		計	3,268	

③ 中山間地域をもっと元気にする

- (1) 第2次中山間地域振興計画に基づく取組を、地域と行政の協働により進めます。
- (2) 空き家の利活用や定住促進のための住宅補助制度の利用拡大を図ります。
- (3) 起業人材を発掘・育成し、農村資源を活用した事業活動を支援します。
- (4) 地域おこし協力隊を導入し、地域主体の課題解決や活性化に向けた取組を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)(4)	中山間地域振興事業	ムトスまちづくり推進課	46,916	基本目標2小戦略③
(1)(2)(3)(4)	遠山郷振興事業	ムトスまちづくり推進課	8,577	基本目標2小戦略③
(2)	総合的な空き家対策事業	ムトスまちづくり推進課	16,701	基本目標2小戦略③
		計	72,194	

補足事項

1 飯田市過疎地域持続的発展計画の基本目標（令和3年度～令和7年度）

定住人口の目標	令和7年度 (R8.3.31)
上村・南信濃地区 の人口	推計 1,313人
	目標 1,350人以上

2 補足指標

指標	基準	進捗				目標
	R3(年度当初)	R3(年度末)	R4(年度末)	R5(年度末)	R6(年度末)	R7(年度末)
上村・南信濃地区 の人口	1,638					1,350

指標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
上村・南信濃地区 への移住世帯数	目標	2	2	2	2	2
	実績					



基本目標	10 個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる
戦略 (考え方)	◆ 地域の活力を生み出す市民活動が広く行われるよう、誰もがチャレンジができ、交流を通じて活動の輪が広がっていくことを目指します。 ◆ 国籍や性などの多様性を認め合い、共に支え合い、共に生きることで、誰一人取り残されない地域社会を目指します。 ◆ 女性や若者や外国人住民を含めた多様な市民が集い、交流し、活動の輪を広げるための拠点づくりを行います。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	R6
① 市民活動・地域活動に参加している市民の割合(%)	62.7 (R1)	62.1 (R2)				66.0
② NPO法人数(団体)	60	59				64
③ ムトス事業助成支援件数(件:累計)	33	34				140 (R3~R6)
④ 審議会・委員会等への女性委員の比率(%)	29.1 (R1)	30.4 (R2)				30.0 (R4)
⑤ 住民自治活動組織(まちづくり委員会等)の女性委員の比率(%)	32.8	32.7				37.0
⑥ 市役所の係長相当の職責の女性比率(%)	33.3	34.0				39.0
⑦ 他地域(外国を含む)からの人を受け入れる市民の割合(%)	77.6 (R1)	79.4 (R2)				80.0
⑧ 新たな市民交流活動拠点の構築(か所)	-					1 (R4)

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 多様性とムトスの行動力でまちづくりを推進
(1) (仮称)飯田駅前プラザにおいて、年齢、性別等を問わず、誰もが気軽に立ち寄り、何かにチャレンジするためのきっかけづくりを行います。 (2) 想いをかたちにしていく人々を育て、NPO法人設立などの手法により活動の持続性をつくります。 (3) 緩やかで新たな市民活動ネットワークづくりを進めるため、例えばエシカル消費(人、社会、環境に配慮した消費)をテーマにした学習交流など、多様な活動が交わる場づくりを行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	人権・男女共同参画推進事業	男女共同参画課	2,772	基本目標4小戦略① 基本目標6小戦略③ 基本目標10小戦略②
(1)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,583	基本目標4小戦略①③④ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略③ 基本目標11小戦略①
(2)	市民協働推進事業	ムトスまちづくり推進課	10,559	基本目標4小戦略①
(3)	消費生活センター事業	男女共同参画課	7,427	基本目標10小戦略②
		計	32,341	

② 多様性が尊重され、安心して暮らせる地域づくり

- (1) ジェンダー(性の区別)の多様性を認め合い、共に支え合える地域を目指します。
- (2) 職場と家庭における男女共同参画を進めるには、個人への取組に加え事業者への働きかけが重要であるため、事業者の実態把握や個別支援を行い、ワーク・ライフ・バランス推進に取り組みます。
- (3) 関係機関等と連携し、新型コロナウイルス感染症の拡大で表面化した差別や誹謗中傷をしない、思いやりある地域社会をつくれます。
- (4) 消費生活センターの継続的な運営を行い、関係機関等と連携し、消費者被害の予防啓発や相談対応を行うとともに、ライフステージ等に応じた消費者学習を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	人権・男女共同参画推進事業	男女共同参画課	2,772	基本目標4小戦略① 基本目標6小戦略③ 基本目標10小戦略①
(3)	平和学習・人権教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	1,624	基本目標4小戦略①
(4)	消費生活センター事業	男女共同参画課	7,427	基本目標10小戦略①
		計	11,823	

③ 国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり

- (1) (仮称)飯田駅前プラザを拠点として、飯田国際交流推進協会等と協働し、外国人住民の皆さんと気軽に日常的に交流ができる様々な事業を行い、相互理解から地域の多文化共生社会づくりを進めます。
- (2) 言葉の壁を取り払うため、多文化共生推進コーディネーターとともに、外国人住民の日本語学習支援をはじめとした各種支援を行います。
- (3) 「やさしい日本語(専門用語や難しい言い回しを用いない平易な日本語)」を、庁内業務にとどまらず、地域での外国人住民のコミュニケーション手段として活用できるよう普及します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	多文化共生社会推進事業	男女共同参画課	6,648	基本目標4小戦略①
(1)(2)(3)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,583	基本目標4小戦略①③④ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略① 基本目標11小戦略①
(1)(2)	特別支援教育支援事業	学校教育課	86,173	基本目標3小戦略②
(1)	市民協働推進事業	ムトスまちづくり推進課	10,559	
(1)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	46,992	基本目標4小戦略④ 基本目標5小戦略①
		計	161,955	



基本目標	11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進
戦略 (考え方)	◆ 「ゼロカーボンシティ」を目指し、二酸化炭素の排出を減らす生活や事業活動への転換を進めていくため、再生可能エネルギーの域産域消や、飯田市版ZEH(ゼロエネルギー住宅)の普及、グリーンリカバリー(緑の復興)による地域の成長をテーマにした共創の場づくりなどの取組を地域ぐるみで進めます。 ◆ 気候変動、生物多様性、廃棄物など身近に迫る環境問題への理解を深める環境学習を多様な世代で推進し、生活をより心豊かで環境にやさしいものにしていく実践の輪を広げます。 ◆ 「もったいない」を常に心がける意識を広め、3R(リデュース(減量)、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化))の実践をすすめ、地球規模の課題である温暖化対策や海洋プラスチック、フードロスの削減に地域ぐるみで貢献します。 ◆ リニア駅周辺を暮らす人が住みやすく、誰もが訪れてみたい環境文化都市を感じられるモデル地域とするための取組を進めます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標(KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	R6
① 二酸化炭素排出量削減割合(%) [2005年比]	26.20 (H30)	32.5 (R1)				35.2
② 市内の太陽光発電電力量が一般家庭の 年間電力消費量に占める割合(%)	33.32 (H30)	35.72 (R1)				46.41
③ 一人一日当たり排出ごみ量(g)	579.7 (R1)	593.2 (R2)				552.3
④ ごみ分別アプリダウンロード数	2,318					5,000
⑤ 環境に関する学習会や知識を高めるような 行事に参加している人の割合(%)	27.40 (R1)	17.6 (R2)				35.0
⑥ 日常的に省エネや節電のための取組を実 践している市民の割合(%)	80.90					88.0
⑦ エシカル消費を心がけている 人数比率	調査により 設定(R3)					調査結果を基に 設定

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 環境問題を知り、学び、実践に移す
(1) 環境文化都市(目指す都市像)の考え及びその実現のための実践情報を、ウェブサイト、SNS、広報誌、その他さまざまな媒体及び手段により、市民、事業者と共有します。 (2) 地域の経済界、金融界、市民とともに「環境文化都市再構築プラットフォーム」の構築を進めます。 (3) ゼロカーボンシティ実現への取組の具現化に向けた動きを加速化するため、取組希望事業所を登録し、学習、実践の場を構築します。 (4) 幼保、学校、公民館等の社会教育機関、まちづくり委員会等と連携し、多様な世代を対象に、エコパーク、ジオパークの活動、生物多様性、廃棄物に係る事項等日常活動の見直しから地球規模までの環境問題をテーマにし、環境懇談会等の学び合う機会をつくります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)(4)	環境教育推進事業	環境課	2,035	
(1)(2)(3)(4)	自然環境保全推進事業	環境課	1,088	
(1)(2)(3)(4)	環境保全一般経費	環境モデル都市推進課	4,696	
(1)(2)(3)(4)	多様な学習交流支援事業	公民館	11,583	基本目標4小戦略①③④ 基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略①③
		計	19,402	

② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換

- 啓発等を通じ、家庭のエネルギー消費の削減、企業のSDGsへの取組を意識した省エネルギー化を推進します。
- 太陽光発電を活用した電気自動車への転換などにより、災害に強いまちづくりと移動手段の脱炭素化を進めます。
- 地域の気候風土を生かし健康にもよい「飯田版ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)仕様」による住宅を、りんご並木のエコハウスを活用するなどして普及させます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	省エネルギー推進事業	環境モデル都市推進課	6,198	
(3)	建築指導事業	地域計画課	4,516	基本目標11小戦略③
		計	10,714	

③ 地域産再生可能エネルギーの創出と活用

- 太陽光・小水力発電設備、蓄電設備、木質バイオマス機器等の普及拡大を推進します。
- メガソーラーいいだや周辺の地域産再生可能エネルギーによる自立的な電力システムによるマイクログリッドの実証を進めることを通じて、エネルギーの新しい利活用の方法を検討します。
- 将来のマイクログリッド化を視野に、環境共生住宅エリアの構築を推進します。
- 地域と民間事業者の協働による地域環境権条例を活用した事業を推進し、持続可能な地域経営を進める新たな事業スキームを検討します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)(4)	地域エネルギー普及事業	環境モデル都市推進課	73,670	基本目標13小戦略②
(3)	建築指導事業	地域計画課	4,516	基本目標11小戦略②
		計	78,186	

④ ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進

- 3R推進に向け、多方面で様々な機会を捉えて意識啓発に取り組み、ごみを増やさないライフスタイルへの変換を促していきます。
- 現在処分している廃棄物の中から、再資源化可能な品目を選別し、収集・運搬・再資源化の実効性を検証する中で、将来のリサイクル対象品目拡大に取り組み、ごみの減量に努めていきます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	3R推進事業	環境課	167,025	
(1)(2)	ごみ適正処理事業	環境課	306,148	
		計	473,173	



基本目標	12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る
戦略 (考え方)	◆ 市民が安全・安心に暮らせるまちを目指し、地域防災力の向上、地域で取り組む防災・減災のまちづくりなど、自助・共助を支援する環境整備に取り組みます。 ◆ 地域防災力の要である飯田市消防団の体制強化を図ります。 ◆ 暮らしを支える社会基盤の長寿命化と安全対策を図り強靱化を推進すると共に豪雨等の自然災害に対する備えを強化します。 ◆ 災害復旧や社会基盤の維持修繕を担う技能・技術者など担い手の育成支援及び技能・技術の伝承を意識した工事発注や研修体制構築に取り組みます。 ◆ 公共インフラの整備において、自然生態系に配慮した工法や緑化等のグリーンインフラの考え方を取り入れます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 防災訓練に参加した市民の割合(%)	46.76	3月末頃			70
② 率先安全避難者登録者数(人)	-	9			100
③ 策定義務対象となる要配慮者施設避難確保計画策定割合(%)	62.7	4月末頃			100
④ 人身交通事故の発生件数(件)	217	165			150
⑤ 橋りょう長寿命化修繕完了数(橋)	5	15			84
⑥ 準用河川の危険箇所調査完了河川数(河川)	31	75			113
⑦ 避難所トイレ洋式化等の整備済割合(%)	-	-			100

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める				
(1) 身の回りのリスクを正しく理解するため、学習会などの機会をより多く創出し、市民の防災・減災意識の向上を図ります。 (2) 要配慮者の避難行動支援が必要な施設はもとより、地域を挙げて要配慮者に対する避難支援計画の整備を進め、一方で率先安全避難者の登録を進めます。 (3) より迅速かつ確実に多様な媒体で災害情報が伝わるようにします。				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	防災対策推進事業	危機管理室	268,435	
(1)(2)(3)	災害対策事業	危機管理室	24,117	
		計	292,552	

② 災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施

- (1) 各部局における災害規模に応じた災害対応計画の策定を進めます。
- (2) 受援計画及び地域防災計画のPDCAサイクルを着実に実施し、それに基づいた取組を進めます。
- (3) 各地区が行う防災訓練において実践的な訓練ができるよう支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	防災対策推進事業	危機管理室	268,435	
(1)(2)(3)	災害対策事業	危機管理室	24,117	
		計	292,552	

③ 飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上

- (1) 消防力の3要素の1つである消防車両を計画的に更新するほか、消防団員が安全に活動できるよう安全装備品等の充実を図ります。
老朽化が進む詰所については、平常時は団員の教育・訓練・会議の実施場所として、また女性団員への
- (2) 配慮に加え地域の若者が集う場として活用できるようにするほか、大規模災害時に地域防災拠点施設の機能を備えた詰所として順次整備していきます。
消防力・防災力の維持・向上に必要な訓練等を精査し、活動を可能な限り短い日数・時間で行えるよう
- (3) 断の努力を重ねるとともに、処遇改善や各種専門資格の取得に対する助成等により消防団活動の魅力を高め、団員確保に努めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	消防施設整備事業	危機管理室	84,226	
(1)(3)	非常備消防事業	危機管理室	195,944	
		計	280,170	

④ 通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止

- (1) 地区要望や通学路合同点検の結果に基づき関係機関と連携し緊急性及び危険性の高い箇所から重点的に安全施設整備を行います。
- (2) 高齢者への安全教育や広報啓発を行い高齢者の人身交通事故件数を2025(令和7)年度までに2020(令和2)年対比で30%減を目指します。
- (3) 季別の交通安全運動期間中の各種街頭啓発活動や年間を通じて行う交通安全教室など交通安全意識高揚に資する活動を展開します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	交通安全施設整備事業	危機管理室	17,979	基本目標3小戦略⑧
(2)(3)	交通安全事業	危機管理室	3,652	
		計	21,631	

⑤ 災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化

- (1) 市道(舗装、橋りょうを含む)、緊急避難場所となる都市公園等暮らしを支える社会基盤の長寿命化、安全対策を進めます。緊急避難場所となる都市公園等のトイレについて洋式化を進めます。
- (2) 防災・安全対策が必要な道路については計画的に整備を進め、通学路については通学路合同点検の結果に基づき、安全対策を進めます。
- (3) 近年増加している集中豪雨による被害に対応するため、準用河川の危険箇所調査を進め、整備計画及び河川台帳の整備を進めます。
- (4) 災害時でもライフラインが確保できるように、暮らしを支える上下水道施設の更新を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)(3)	防災・安全対策事業	土木課	906,196	基本目標2小戦略② 基本目標3小戦略⑧
(2)	公園整備事業	土木課	65,098	
(4)	妙琴浄水場更新整備事業	水道課	15,000	
		計	986,294	



基本目標	13 リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する
戦略 (考え方)	◆ リニア・三遠南信時代を見据えた土地利用について、住民の合意形成を図りながら、全市的な視点で取り組みます。 ◆ 県内唯一のリニア中間駅として、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かすことができるよう、関係者の意向や環境影響等に十分配慮しながら、リニア駅周辺や座光寺スマートIC及び関連施設道路等の施設整備を進め、広域交通拠点の整備と広域的道路ネットワークの強化をはかります。 ◆ 目的地へスムーズに誘うことができ利便性も高いリニアの2次交通や持続可能な公共交通の構築を進めるとともに、この地域らしいスマートモビリティの実装に向け、AI(人口知能)やIoT(インターネットオブシングス)の技術の活用展開について研究します。 ◆ 市民や来訪者の利便性、安全や安心の向上等に資するデジタル化や先端技術活用の可能性を研究し、実装可能なことから実践します。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標(KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	
① リニア駅周辺整備の実施設進捗率(%)	25	50				100
② 座光寺SICの整備率(%)	69	71				88
③ 市内EVバスの導入台数(台)	1	1				2
④ 公共交通利用者数(人)	373,711	285,575				358,000
⑤ 新たな行政電子サービス	-	0				4

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① リニア・三遠南信時代を見据えた良好な土地利用の推進				
(1) リニア開通後の暮らしを視野に、適正な土地利用と良好な景観保全に向けた制度や計画づくりに取り組みます。 (2) 拠点集約連携型都市構造の推進と「山」「里」「街」の暮らしの実現に向けて、各地区において地域土地利用方針の検討などに取り組みます。 (3) 全市的、広域的な将来像を具現化するため、市民や関係者等との調整を図ったうえで、その実現に向けた土地利用計画の検討に取り組みます。				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	都市計画推進事業	地域計画課	16,526	
(1)(2)(3)	土地利用計画推進事業	地域計画課	244	
		計	16,770	

② リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす広域交通拠点整備と広域道路ネットワークの強化

- (1) 市全体あるいは南信州地域全体の地域振興の観点から、三遠南信自動車道をはじめとする国道や県道の整備に取り組むとともに、関係する市道の整備を進め、広域的な道路ネットワークの強化をはかります。
- 地権者をはじめとする関係者の意向や環境影響等にも意を配しつつ、県内唯一のリニア中間駅であることも踏まえて、リニアの整備効果を地域振興に活かすために必要となるリニア駅周辺やその近辺の道路の整備を進めるとともに、リニアの高速性を活かす上で欠くことのできない座光寺スマートIC周辺整備に引き続き取り組みます。
- (2)

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)	道路事業促進同盟会参画事業	国県関連事業課	4,156	
(1)	国県関連事業	国県関連事業課	87,568	
(1)	道路ネットワーク整備事業	土木課	533,128	
(2)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	1,177,546	
(2)	代替地整備事業	リニア用地課	416,650	
(2)	リニア用地取得事業	リニア用地課	32,805	
(2)	リニア推進事業	リニア推進課	107,528	
(2)	地域エネルギー普及事業	環境モデル都市推進課	73,670	基本目標11小戦略③
(2)	リニア関連道路整備事業	国県関連事業課	169,435	
		計	2,602,486	

③ リニアの2次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、AI等の技術を活用したスマートモビリティの実装

- (1) 都市圏へ向かうリニア利用者のリニア駅へのアクセス、あるいは都市圏から来訪するリニア利用者を各観光地等の様々な拠点へ誘うための交通手段、この2つの視点を踏まえて、利便性が高く、リニアの整備効果を最大限に享受することができるような2次交通の実現に取り組みます。
- (2) 住民の日常生活に欠かせない移動手段である地域公共交通が、将来にわたり持続可能な形で運営することができるよう、その交通体系の構築に向けて取り組みます。
- (3) 2次交通や持続可能な地域公共交通を検討するに当たっては、この地域らしさを活かしたスマートモビリティを実装できるよう、AIやIoTの技術の活用展開について研究を進めます。
- 新たな交通システムが、需要創造等の産業振興策と連携したり、様々な地域課題の解決に資することができるよう、技術の進歩が目覚ましいモビリティの分野や環境・エネルギーの観点も踏まえつつ、電気自動車やMaaS、さらには自動運転等の導入について検討します。
- (4)

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	交通体系整備事業	リニア推進課	160,611	
(1)(2)(3)(4)	リニア二次交通整備事業	リニア推進課	9,726	
		計	170,337	

補足事項

④公共交通利用者数の目標値は、2020年から2025年の人口予測を踏まえ算出(国立社会保障・人口問題研究所 2018(平成30)年推計参照)

④ 市民サービスを向上するデジタル化の推進

- (1) 市役所に行かなくても行政手続きができ、オンラインで完結するように、行政手続きのデジタル化を進め、市民の利便性向上に取り組めます。
- (2) 地域の課題解決の方策にデジタル技術の活用を研究します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備 考
(1)(2)	IIDAブランド推進事業	IIDAブランド推進課	10,037	基本目標2小戦略①
(1)	広報広聴事業	秘書広報課	63,086	
(1)	情報システム事業	総務文書課	418,387	
(1)	住民記録管理事務	市民課	52,110	
		計	543,620	